

平成29年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	福岡県		市町村類型	V-2		指定団体等の指定状況		区分		平成29年度(千円)	平成28年度(千円)	区分		平成29年度(千円・%)	平成28年度(千円・%)																																																																																																																																																	
						財政健全化等	×	歳入総額	8,841,499	8,982,132	実質収支比率	6.1	4.7																																																																																																																																																			
市町村名	須恵町		地方交付税種地	2-5		財源超過	×	歳出総額	8,501,835	8,661,685	経常収支比率	86.7	88.6																																																																																																																																																			
						首都	×	歳入歳出差引	339,664	320,447	(※1)	(91.8)	(93.5)																																																																																																																																																			
						近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	0	61,149	標準財政規模	5,535,790	5,508,646																																																																																																																																																			
						中部	×	実質収支	339,664	259,298	財政力指数	0.59	0.57																																																																																																																																																			
人口	27年国調(人)	27,263	産業構造(※5)		過疎	×	単年度収支	80,366	29,988	公債費負担比率	9.0	9.5																																																																																																																																																				
	22年国調(人)	26,044			山振	×	積立金	26,082	4,925	健全化判断比率																																																																																																																																																						
	増減率(%)	4.7			低開発	×	繰上償還金	0	0	実質赤字比率	-	-																																																																																																																																																				
住民基本台帳人口(※7)	30.01.01(人)	28,084	区分	27年国調	22年国調	低開発	×	積立金取崩し額	2,777	300,000	連結実質赤字比率	-	-																																																																																																																																																			
	うち日本人(人)	27,858		第1次	125	114	指数表選定	○	実質単年度収支	103,671	-265,087	実質公債費比率	7.6	7.4																																																																																																																																																		
	29.01.01(人)	27,894	第2次	1.0	1.0			基準財政収入額	2,745,535	2,709,337	資金不足比率(※4)																																																																																																																																																					
	うち日本人(人)	27,690		3,178	3,021			基準財政需要額	4,486,284	4,494,326																																																																																																																																																						
	増減率(%)	0.7	第3次	25.8	25.8			標準税収入額等	3,481,803	3,438,487																																																																																																																																																						
	うち日本人(%)	0.6		8,996	8,554			経常経費充当一般財源等	4,875,958	4,885,518																																																																																																																																																						
面積(km ²)	16.31			73.1	73.2			歳入一般財源等	6,239,424	6,352,750																																																																																																																																																						
人口密度(人/km ²)	1,672							地方債現在高	6,681,394	6,537,415																																																																																																																																																						
世帯数(世帯)	9,919							うち公的資金	6,058,617	5,829,333																																																																																																																																																						
職員の状況(※8)																																																																																																																																																																
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	債務負担行為額(支出予定額)	878,008	975,780																																																																																																																																																					
	市区町村長	1	8,320		一般職員	116	341,504	2,944	収益事業収入	-	-																																																																																																																																																					
	副市区町村長	1	6,730		うち消防職員	-	-	-	土地開発基金現在高	-	-																																																																																																																																																					
	教育長	1	6,260		うち技能労務職員	-	-	-	財政調整基金	2,322,418	2,299,113																																																																																																																																																					
	議会議長	1	3,460		教育公務員	14	37,130	2,652	減債基金	283,630	283,346																																																																																																																																																					
	議会副議長	1	2,830		臨時職員	-	-	-	其他特定目的基金	131,969	131,811																																																																																																																																																					
	議会議員	12	2,640		合計	130	378,634	2,913																																																																																																																																																								
						ラスパイレス指数		97.6																																																																																																																																																								
	<table border="0"> <tr> <td>一般会計等の一覧 項番</td> <td>会計名</td> <td>事業会計の一覧 項番</td> <td>会計名</td> <td>公営企業(法適)の一覧 項番</td> <td>会計名</td> <td>公営企業(法非適)の一覧 項番</td> <td>会計名</td> <td>関係する一部事務組合等一覧 項番</td> <td>組合等名</td> <td>地方公社・第三セクター等一覧 項番</td> <td>団体名</td> <td>(※3)</td> </tr> <tr> <td>(1)</td> <td>一般会計</td> <td>(2)</td> <td>国民健康保険特別会計</td> <td>(4)</td> <td>水道事業会計</td> <td>(5)</td> <td>公共下水道事業特別会計</td> <td>(7)</td> <td>福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(3)</td> <td>後期高齢者医療特別会計</td> <td></td> <td></td> <td>(6)</td> <td>農業集落排水事業特別会計</td> <td>(8)</td> <td>福岡県市町村職員退職手当組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(9)</td> <td>福岡県市町村職員退職手当組合(基金特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(10)</td> <td>福岡県自治会館管理組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(11)</td> <td>糟屋郡自治会館組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(12)</td> <td>糟屋郡篠栗町外一市五町財産組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(13)</td> <td>北筑昇華苑組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(14)</td> <td>粕屋南部消防組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(15)</td> <td>粕屋南部消防組合(粕屋中南部休日診療所事業特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(16)</td> <td>須恵町外二ヶ町清掃施設組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>																一般会計等の一覧 項番	会計名	事業会計の一覧 項番	会計名	公営企業(法適)の一覧 項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧 項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧 項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧 項番	団体名	(※3)	(1)	一般会計	(2)	国民健康保険特別会計	(4)	水道事業会計	(5)	公共下水道事業特別会計	(7)	福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合(一般会計)						(3)	後期高齢者医療特別会計			(6)	農業集落排水事業特別会計	(8)	福岡県市町村職員退職手当組合(一般会計)												(9)	福岡県市町村職員退職手当組合(基金特別会計)												(10)	福岡県自治会館管理組合(一般会計)												(11)	糟屋郡自治会館組合(一般会計)												(12)	糟屋郡篠栗町外一市五町財産組合(一般会計)												(13)	北筑昇華苑組合(一般会計)												(14)	粕屋南部消防組合(一般会計)												(15)	粕屋南部消防組合(粕屋中南部休日診療所事業特別会計)												(16)	須恵町外二ヶ町清掃施設組合(一般会計)				
	一般会計等の一覧 項番	会計名	事業会計の一覧 項番		会計名	公営企業(法適)の一覧 項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧 項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧 項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧 項番	団体名	(※3)																																																																																																																																																		
(1)	一般会計	(2)	国民健康保険特別会計	(4)	水道事業会計	(5)	公共下水道事業特別会計	(7)	福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合(一般会計)																																																																																																																																																							
		(3)	後期高齢者医療特別会計			(6)	農業集落排水事業特別会計	(8)	福岡県市町村職員退職手当組合(一般会計)																																																																																																																																																							
								(9)	福岡県市町村職員退職手当組合(基金特別会計)																																																																																																																																																							
								(10)	福岡県自治会館管理組合(一般会計)																																																																																																																																																							
								(11)	糟屋郡自治会館組合(一般会計)																																																																																																																																																							
								(12)	糟屋郡篠栗町外一市五町財産組合(一般会計)																																																																																																																																																							
								(13)	北筑昇華苑組合(一般会計)																																																																																																																																																							
								(14)	粕屋南部消防組合(一般会計)																																																																																																																																																							
								(15)	粕屋南部消防組合(粕屋中南部休日診療所事業特別会計)																																																																																																																																																							
								(16)	須恵町外二ヶ町清掃施設組合(一般会計)																																																																																																																																																							

(注釈) ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補償債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。
 ※7: 人口については、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
 ※8: 職員の状況については、地方公務員給与実態調査に基づくものであるが、当該資料作成時点(平成31年1月末時点)において平成30年調査結果が未公表であるため、前年度の数値を引用している。□

(1) 普通会計の状況 (市町村)

歳入の状況 (単位 千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比
地方税	2,947,038	33.3	2,947,038	55.5
地方譲与税	60,853	0.7	60,853	1.1
利子割交付金	4,650	0.1	4,650	0.1
配当割交付金	12,055	0.1	12,055	0.2
株式等譲渡所得割交付金	12,778	0.1	12,778	0.2
分離課税所得割交付金	-	-	-	-
道府県民税所得割臨時交付金	-	-	-	-
地方消費税交付金	465,265	5.3	465,265	8.8
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-
特別地方消費税交付金	-	-	-	-
自動車取得税交付金	22,325	0.3	22,325	0.4
軽油引取税交付金	-	-	-	-
地方特例交付金	33,604	0.4	33,604	0.6
地方交付税	1,945,393	22.0	1,737,210	32.7
普通交付税	1,737,210	19.6	1,737,210	32.7
特別交付税	208,183	2.4	-	-
震災復興特別交付税	-	-	-	-
(一般財源計)	5,503,961	62.3	5,295,778	99.7
交通安全対策特別交付金	5,209	0.1	5,209	0.1
分担金・負担金	102,028	1.2	-	-
使用料	167,772	1.9	6,269	0.1
手数料	65,821	0.7	-	-
国庫支出金	1,009,097	11.4	-	-
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-
都道府県支出金	757,927	8.6	-	-
財産収入	77,955	0.9	2,852	0.1
寄附金	57,320	0.6	-	-
繰入金	2,777	0.0	-	-
繰越金	320,447	3.6	-	-
諸収入	109,208	1.2	9	0.0
地方債	661,977	7.5	-	-
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-
うち臨時財政対策債	316,777	3.6	-	-
歳入合計	8,841,499	100.0	5,310,117	100.0

地方税の状況 (単位 千円・%)				
区分	収入済額	構成比	超過課税分	
普通税	2,947,038	100.0	46,106	
法定普通税	2,947,038	100.0	46,106	
市町村民税	1,333,237	45.2	46,106	
個人均等割	43,033	1.5	-	
所得割	1,048,925	35.6	-	
法人均等割	69,166	2.3	11,814	
法人税割	172,113	5.8	34,292	
固定資産税	1,291,907	43.8	-	
うち純固定資産税	1,272,880	43.2	-	
軽自動車税	74,230	2.5	-	
市町村たばこ税	247,664	8.4	-	
鉱産税	-	-	-	
特別土地保有税	-	-	-	
法定外普通税	-	-	-	
目的税	-	-	-	
法定目的税	-	-	-	
入湯税	-	-	-	
事業所税	-	-	-	
都市計画税	-	-	-	
水利地益税等	-	-	-	
法定外目的税	-	-	-	
旧法による税	-	-	-	
合計	2,947,038	100.0	46,106	

区分	平成29年度		平成28年度	
徴収率(%)	現年	前年	現年	前年
合計	98.8	95.0	98.8	95.0
市町村民税	98.8	94.2	98.4	94.1
純固定資産税	98.7	94.8	98.9	94.8

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	1,253,759	実質収支	5,417
下水道	313,064	再差引収支	-136,900
上水道	15,351	加入世帯数(世帯)	3,661
工業用水道	-	被保険者数(人)	6,269
交通	-	被保険者1人当り	87
国民健康保険	328,696	保険税(料)収入額	133
その他	596,648	国庫支出金	355
		保険給付費	

(注釈)
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況 (単位 千円・%)				
目的別歳出の状況 (単位 千円・%)				
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等
議会費	111,930	1.3	-	111,930
総務費	922,078	10.8	1,380	789,148
民生費	3,515,711	41.4	26,543	1,666,167
衛生費	940,653	11.1	3,466	847,575
労働費	5	0.0	-	3
農林水産業費	239,148	2.8	106,889	167,973
商工費	48,848	0.6	-	48,019
土木費	651,451	7.7	266,857	582,380
消防費	413,618	4.9	101,104	307,375
教育費	1,095,441	12.9	259,661	816,238
災害復旧費	297	0.0	-	297
公債費	562,655	6.6	-	562,655
諸支出金	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-
歳出合計	8,501,835	100.0	765,900	5,899,760

性質別歳出の状況 (単位 千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	3,553,533	41.8	2,117,693	2,101,576	37.3
人件費	1,237,027	14.6	1,040,349	1,025,168	18.2
うち職員給	795,700	9.4	610,717	-	-
扶助費	1,753,851	20.6	514,689	513,753	9.1
公債費	562,655	6.6	562,655	562,655	10.0
元利償還金	562,655	6.6	562,655	562,655	10.0
うち元金	517,998	6.1	517,998	517,998	9.2
うち利子	44,657	0.5	44,657	44,657	0.8
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	4,182,105	49.2	3,468,959	2,774,382	49.3
物件費	1,485,995	17.5	1,195,755	981,067	17.4
維持補修費	71,228	0.8	69,050	60,577	1.1
補助費等	1,344,599	15.8	1,105,672	914,019	16.2
うち一部事務組合負担金	738,609	8.7	738,359	696,871	12.4
繰出金	1,238,408	14.6	1,060,197	818,719	14.6
積立金	26,524	0.3	23,934	-	-
投資・出資金・貸付金	15,351	0.2	14,351	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	766,197	9.0	313,108	-	-
うち人件費	25,713	0.3	25,713	-	-
普通建設事業費	765,900	9.0	312,811	-	-
うち補助	183,245	2.2	3,863	-	-
うち単独	581,958	6.8	308,851	-	-
災害復旧事業費	297	0.0	297	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	8,501,835	100.0	5,899,760	-	-

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

平成29年度 福岡県須恵町

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

Table with 8 columns: 会計名, 歳入, 歳出, 形式収支, 実質収支, 他会計等からの繰入金, 地方債現在高, 備考. Includes rows for 一般会計 and a total row.

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

Table with 10 columns: 会計名, 総収益(歳入), 総費用(歳出), 純損益(形式収支), 資金剰余額/不足額(実質収支), 他会計等からの繰入金, 企業債(地方債)現在高, 左のうち一般会計等繰入見込額, 資金不足比率, 備考. Includes rows for various public enterprise accounts and a total row.

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

Table with 10 columns: 一部事務組合等名, 総収益(歳入), 総費用(歳出), 純損益(形式収支), 資金剰余額/不足額(実質収支), 他会計等からの繰入金, 企業債(地方債)現在高, 左のうち一般会計等繰入見込額, 備考. Lists various regional cooperation organizations.

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

Table with 10 columns: 地方公社・第三セクター等名, 経常損益, 純資産又は正味財産, 当該団体からの出資金, 当該団体からの補助金, 当該団体からの貸付金, 当該団体からの債務保証に係る債務残高, 当該団体からの損失補償に係る債務残高, 一般会計等負担見込額, 備考. Lists public corporations and third sectors.

※地方公共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人を記載している。

※地方公共団体財政健全化法に基づき将来負担比率の算定対象となっている法人については、○印を付与している。

公債費負担の状況

Table showing public debt service burden with columns for 区分, 平成27年度, 平成28年度, 平成29年度, 分母比. Includes sub-tables for 内訳 and 特定財源.

将来負担の状況

Table showing future debt burden with columns for 区分, 平成27年度, 平成28年度, 平成29年度, 分母比. Includes sub-tables for 内訳 and 健全化判断比率.

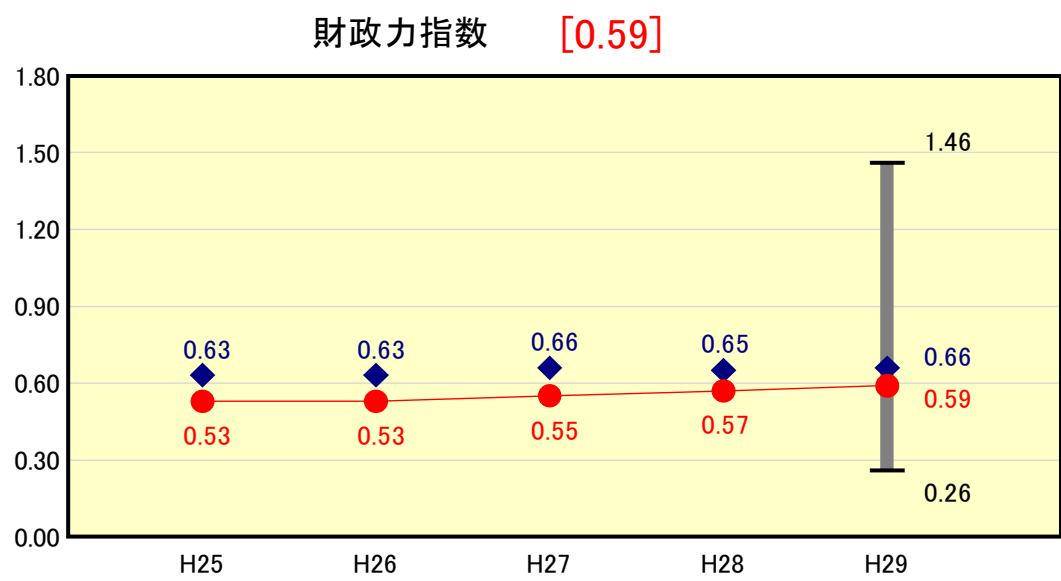
(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	28,084	人(H30.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	27,858	人(H30.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	16.31	km ²	実質公債費比率	7.6	%
歳入総額	8,841,499	千円	将来負担比率	49.4	%
歳出総額	8,501,835	千円	市町村類型	H25 V-2 H26 V-2 H27 V-2	
実質収支	339,664	千円	(年度毎)	H28 V-2 H29 V-2	
標準財政規模	5,535,790	千円			
地方債現在高	6,681,394	千円			

● 当該団体値
◆ 類似団体平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※「定員管理の状況」及び「給与水準(国との比較)」は地方公務員給与実態調査に基づくものであるが、当該資料作成時点(平成31年1月末時点)において平成30年調査結果が未公表であるため、平成29年度の数値については、前年度の数値を引用している。
 ※人口については、各調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

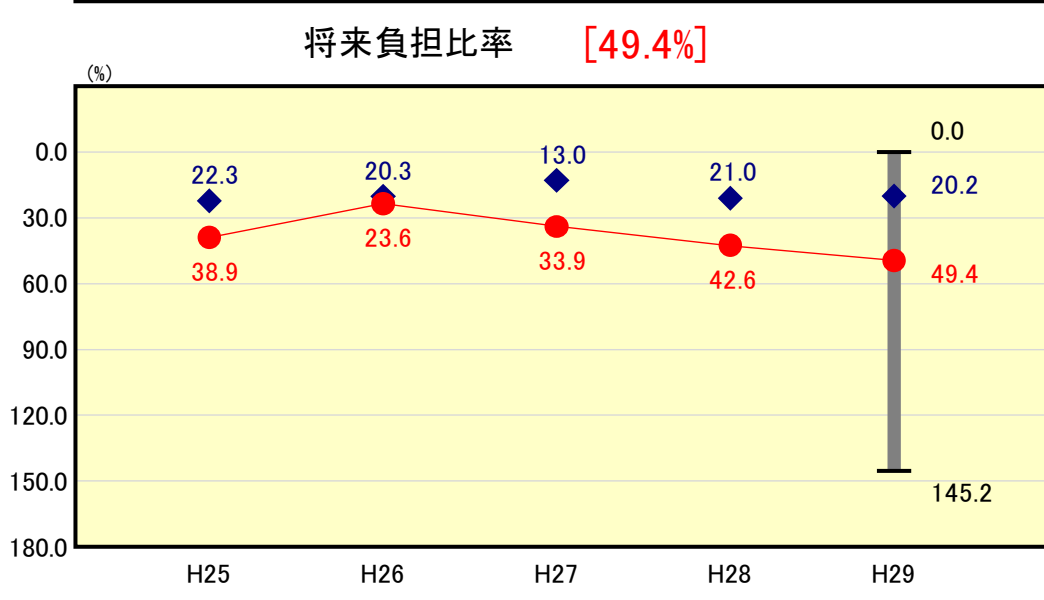
財政力



財政力指数の分析欄

平成27年度以降わずかに改善はしているが、類似団体内順位は依然中間以下であり、その主な要因は類似団体と比較して税収の割合が低いことが大きい。町の人口はわずかずつではあるが増加しており、それに伴って住民税・固定資産税等の税収も年々伸びてはいるものの、依然扶助費・補助費等にかかる支出が増大しておりなかなか改善に結びついていかない。ただ、近年大型事業所や小売り商業店舗の進出が続いており活気も増えつつある。今後も税の徴収を強化して税収増加による歳入の確保に努め、類似団体順位が上がるよう努める。

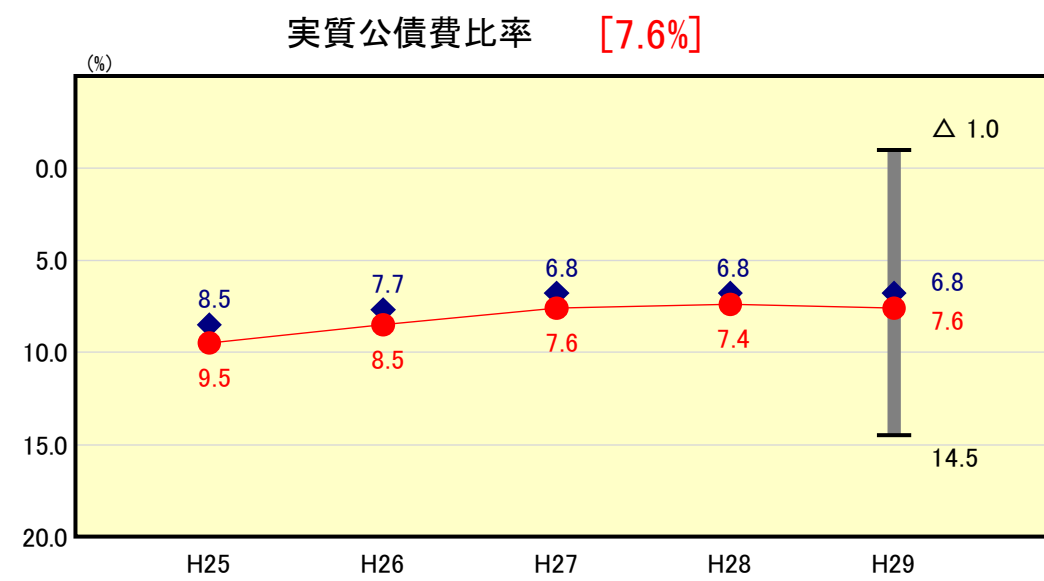
将来負担の状況



将来負担比率の分析欄

類似団体とのかい離は平成23年度末までは改善していたが、平成24年度以降は小中学校の大規模改修や幼稚園の建設などで負担比率は大幅に増加した。平成26年度は大規模な改修、建設がなかったためかい離が縮小したが、平成27年度では、新規幼稚園の建設等で再び差が拡大した。更に平成28年度では、充当可能財源である基金を3億円取崩し、数値が大きく悪化した。平成29年度では、公共下水道事業特別会計の経営状態の悪化が数値を上げる要因となった。

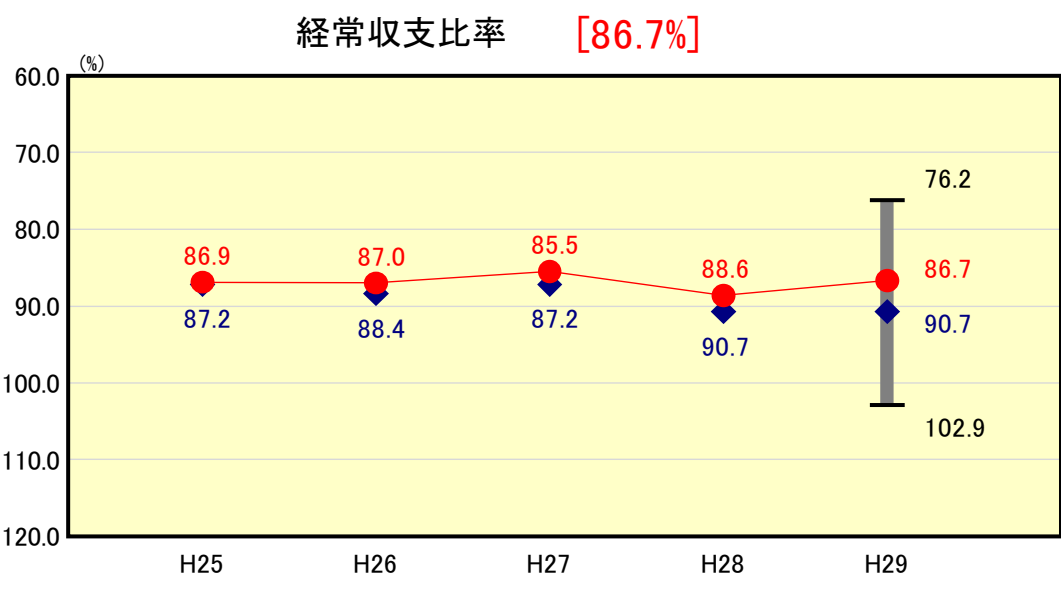
公債費負担の状況



実質公債費比率の分析欄

平成初期に借入を実施した比較的高額・高利率な借入が近年償還終了を迎えてきており、ここ数年は実質公債費比率は向上してきている。今後も施設老朽化による改修などが見込まれるが、公共施設等総合管理計画等を活用し、新規の地方債発行を長期的に見据えて、財政の健全化を図っていく。

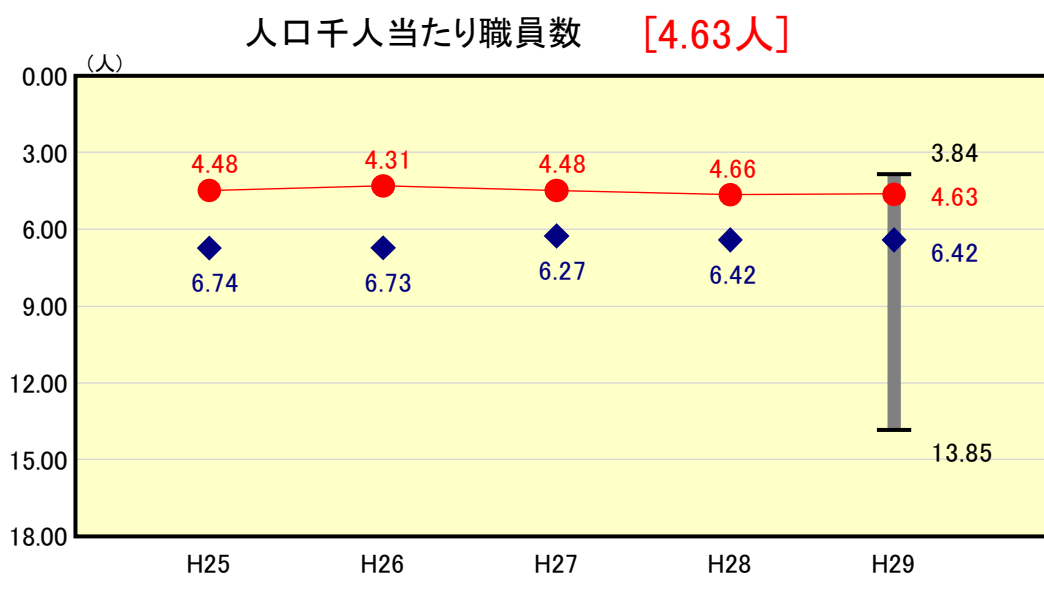
財政構造の弾力性



経常収支比率の分析欄

平成20年度以降、類似団体とのかい離はほぼなくなり、平成28年度では2.1ポイント、平成29年度では4.0ポイント下回った。一般財源の主である税収が年々増加していることや普通建設事業の抑制が主な要因であるが、依然として特別会計への繰出金や一部事務組合への負担金、扶助費等が年々増加しており財政の硬直化の一因となっている。特に公共下水道事業特別会計への繰出は町全体の財政を圧迫しており、今後は事業計画の見直しが必要とされる。人件費及び物件費については、職員の給与・定員の適正化や事務事業の見直しを継続して実施していることから、比率の大きな動きはない。

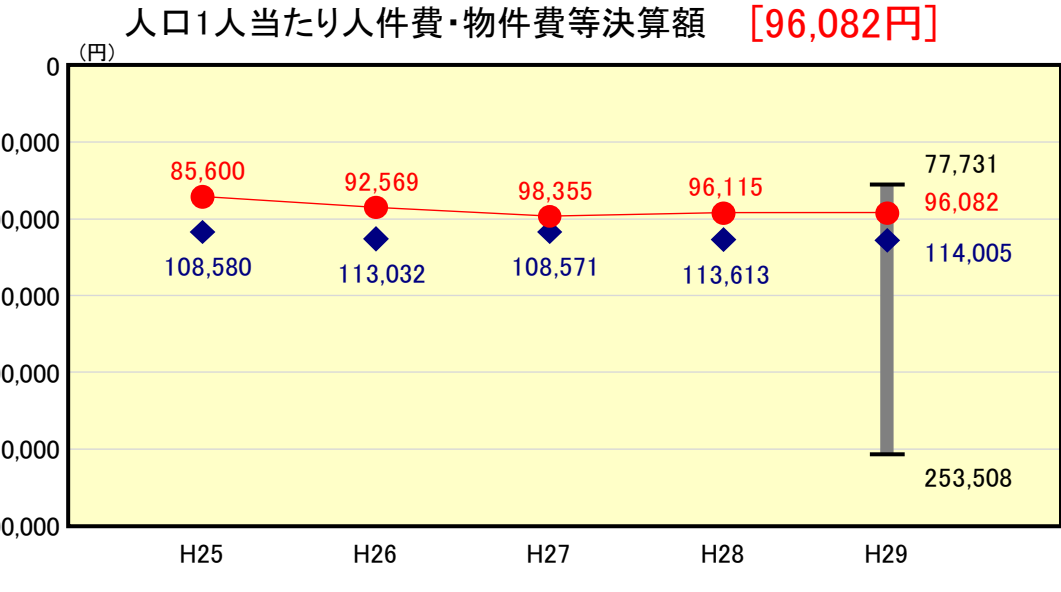
定員管理の状況



人口千人当たり職員数の分析欄

平成29年度は平成28年度数値を引用。(職員数:平成28年度数値、人口:平成30年1月1日現在の人口)なお、平成29年度類似団体関係数値(平均値、最大値及び最小値、順位)は、平成29年度の選定団体によるもの。

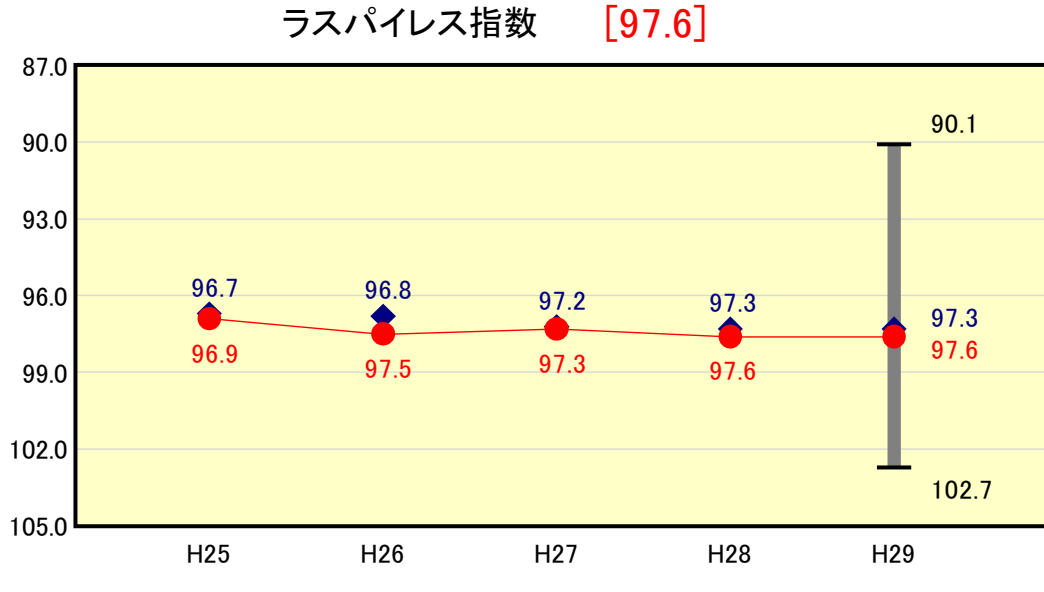
人件費・物件費等の状況



人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

人件費、物件費等の決算額の人口1人当たりの金額が類似団体平均を下回っているのは、千人当たりの職員数が類似団体に比べ少なく、人件費を抑制しているためである。しかし職員数縮小の一方で、増加傾向にある業務量を補うため臨時職員の雇用や委託業務件数の増加、また就学前児童の増加による保育実施委託料の増加等により物件費は増加傾向にある。そういった理由で委託料等の物件費が増加傾向にあり数値の悪化の要因となっている。平成30年度以降、臨時職員については町での直接雇用を極力無くし、包括業務委託での対応とし雇用人数と経費の縮減を目指す。また、業務改革を実施し、委託業務等の見直しと集約化でコストの低減を図っていく。

給与水準 (国との比較)



ラスパイレス指数の分析欄

平成29年度は平成28年度数値を引用。なお、平成29年度類似団体関係数値(平均値、最大値及び最小値、順位)は、平成29年度の選定団体によるもの。

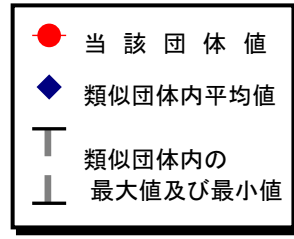
(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成29年度

福岡県須恵町

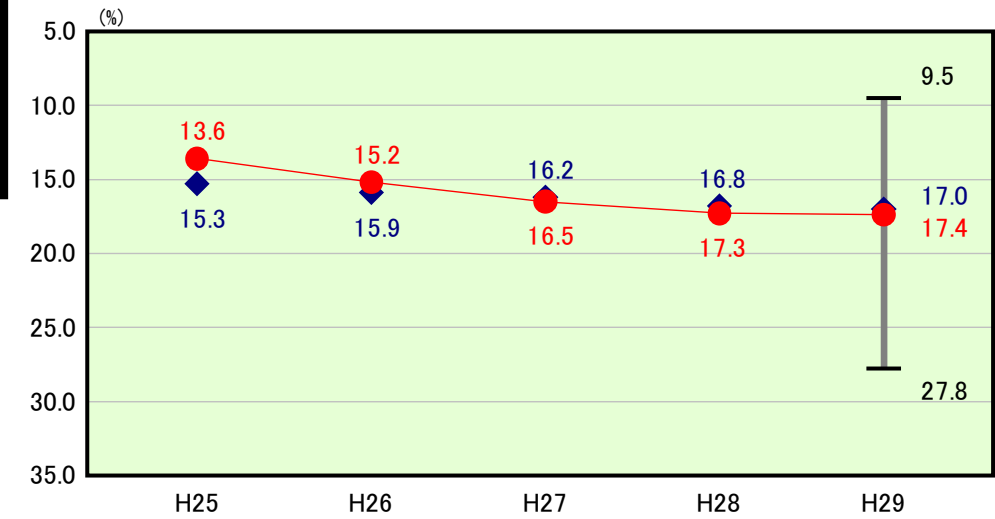
経常収支比率の分析

人口	28,084	人(H30.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	27,858	人(H30.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	16.31	km ²	実質公債費比率	7.6	%
歳入総額	8,841,499	千円	将来負担比率	49.4	%
歳出総額	8,501,835	千円	市町村類型	H25 V-2 H26 V-2 H27 V-2	
実質収支	339,664	千円	(年度毎)	H28 V-2 H29 V-2	
標準財政規模	5,535,790	千円			
地方債現在高	6,681,394	千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

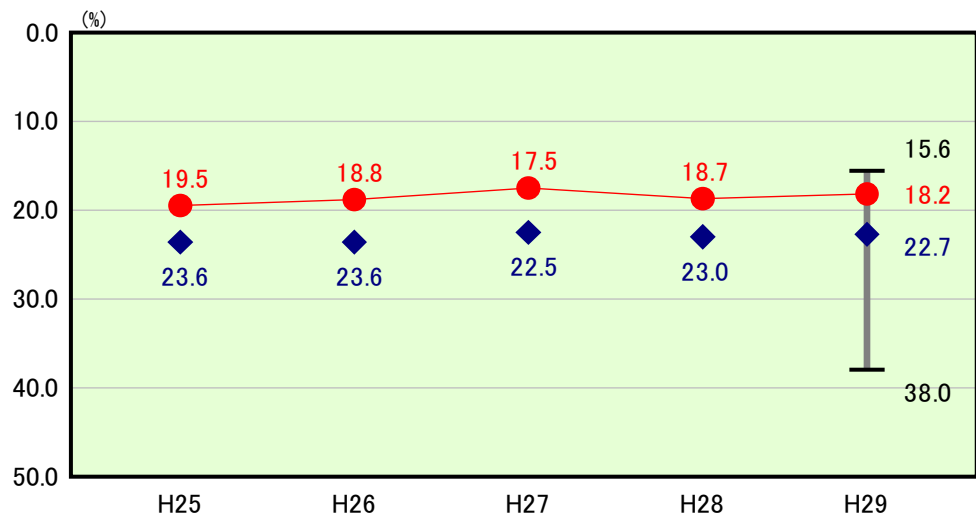
物件費



類似団体内順位 51/100 全国平均 14.5 福岡県平均 13.7

物件費の分析欄
 ここ数年は類似団体とほぼ同水準で増加傾向であると言える。主な要因は、就学前児童の増加による保育実施委託料の増加や職員数の縮小に反して業務量が増加していることにより委託業務件数が増加している点である。
 近年、需用費・備品購入費の削減目標(5%)を進めているが、この取組もほぼ限界にきている。今後行政評価制度を取り入れ、業務の削減も含め見直しをし、委託業務の簡素化・集約化を進めて委託料の削減等にも努める。

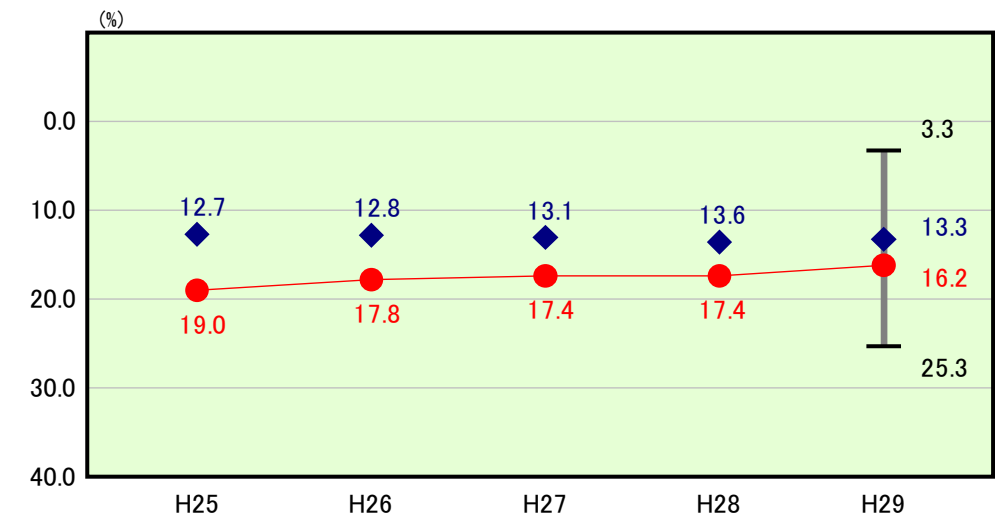
人件費



類似団体内順位 14/100 全国平均 25.6 福岡県平均 25.3

人件費の分析欄
 類似団体と比較して職員数が少ないため平均値より4.5ポイント低い値になっている。
 人口1人当たりの決算額でも類似団体平均を下回っており、今後も平均値を下回るよう引き続き手当等の見直しを図り、行財政改革の取り組みと並行して人件費の削減に努める。

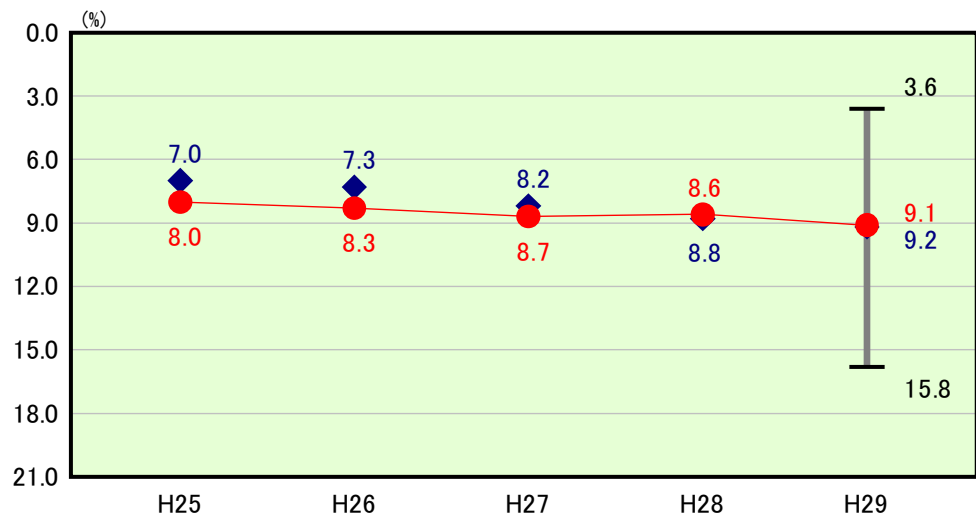
補助費等



類似団体内順位 81/100 全国平均 10.1 福岡県平均 10.0

補助費等の分析欄
 平成29年度は、類似団体平均よりも2.9ポイント上回っているが、その差は年々少なくなっている。
 主な要因としては、平成28年度はプレミアム付商品券発行事業(138,000千円)を実施したが、平成29年度では委託業務にしたため補助費等としては、110,000千円以上の削減となった。
 段階的に、各団体等への補助金の見直しを行っており類似団体平均に近くなるよう努める

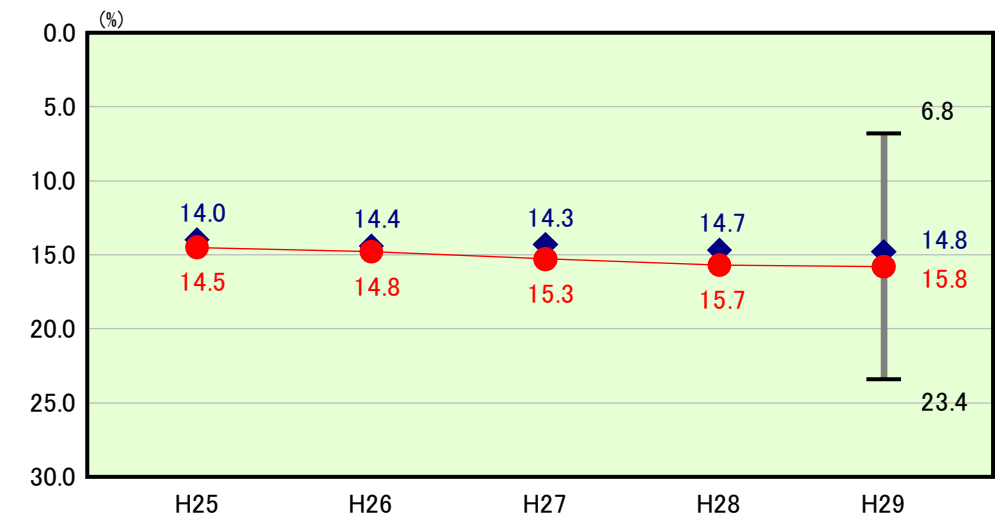
扶助費



類似団体内順位 54/100 全国平均 12.4 福岡県平均 13.8

扶助費の分析欄
 平成25年度、平成26年度では類似団体平均よりも1.0ポイント高い数値であった。年々数値は高くなってはいるが、平成29年度では類似団体平均とほぼ変わらない数値となっている。
 要因として、人口は微増ながらも、就学前児童・高齢者の割合が上昇傾向にあり、今後も医療費等の増加が見込まれる。
 年齢や立場を問わず、町民誰もが安心して生活・参画できる町を目指し、健全化を図っていくよう努める。

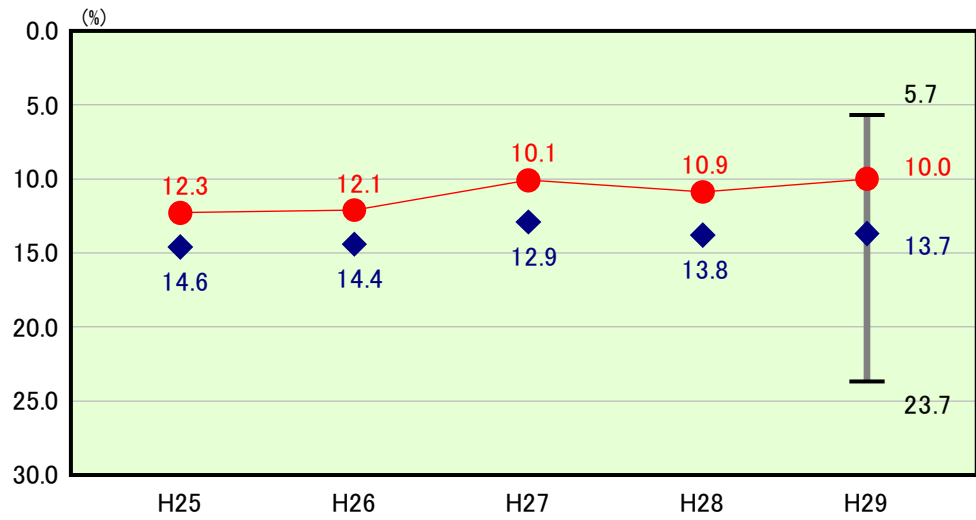
その他



類似団体内順位 57/100 全国平均 13.3 福岡県平均 12.7

その他の分析欄
 年々増加傾向であり、また平成29年度は類似団体平均を1.0ポイント上回っている。その主な要因は、特別会計への繰出金の増加や、学校施設の大規模改修、幼稚園の建替え等である。
 国民健康保険特別会計及び農業集落排水事業特別会計への繰出金は減少傾向にあるものの、公共下水道事業特別会計繰出金及び介護保険広域連合への負担金が増加傾向にある。
 今後も健康増進の啓発活動などを通じて医療費の負担を減らし健全化を図る。

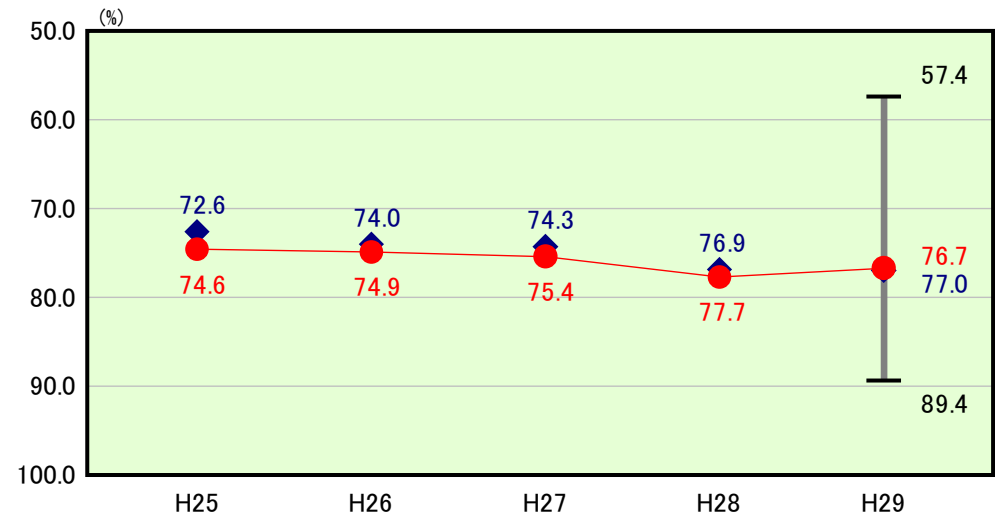
公債費



類似団体内順位 19/100 全国平均 16.9 福岡県平均 18.6

公債費の分析欄
 平成初頭に借り入れた額の大きな地方債の多くが償還終了期を迎えており、それに伴い年々公債費は減少傾向にある。
 平成29年度は、類似団体平均値を3.7ポイント下回ってはいるが、今後多くの教育施設やその他公共施設の改修や更新などを予定しているため町債の新規発行が見込まれる。
 可能な限り新規発行を償還額以内に収め、現在の水準の維持に努める。

公債費以外



類似団体内順位 38/100 全国平均 75.9 福岡県平均 75.5

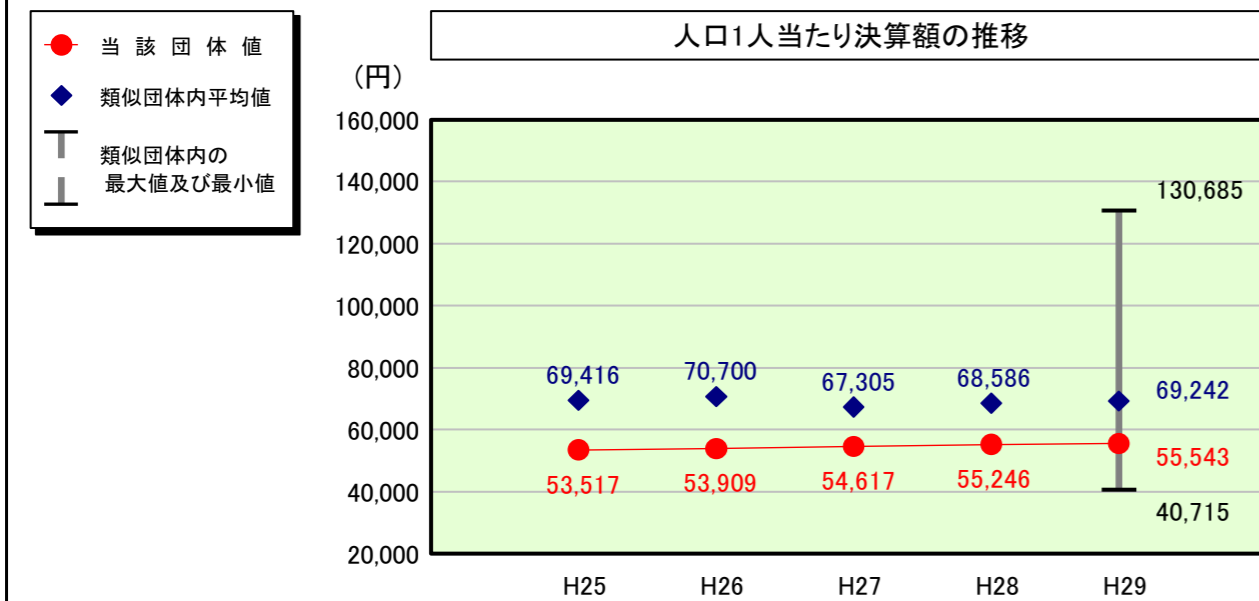
公債費以外の分析欄
 これまで類似団体平均を上回っていたが、平成29年度で初めて0.3ポイント下回った。しかし、扶助費、物件費等の増大により、類似団体と同様に増加傾向にある。中でも財政を圧迫しているのは、医療費や給付費、各特別会計への繰出金などで、年々増加傾向にあり歯止めが効かない。
 各特別会計への繰出金を減らすべく料金の見直し、適正化を図り、税収を含めた財源の確保を主目標とし財政の健全化を図っていく。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成29年度

福岡県須恵町

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	1,237,027	44,047	55,995	▲ 21.3
賃金(物件費)	160,451	5,713	5,813	▲ 1.7
一部事務組合負担金(補助費等)	216,426	7,706	8,381	▲ 8.1
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	170	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	1	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	41,856	1,490	2,724	▲ 45.3
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	25,713	916	1,180	▲ 22.4
▲退職金	▲ 121,593	▲ 4,330	▲ 5,022	▲ 13.8
合計	1,559,880	55,543	69,242	▲ 19.8

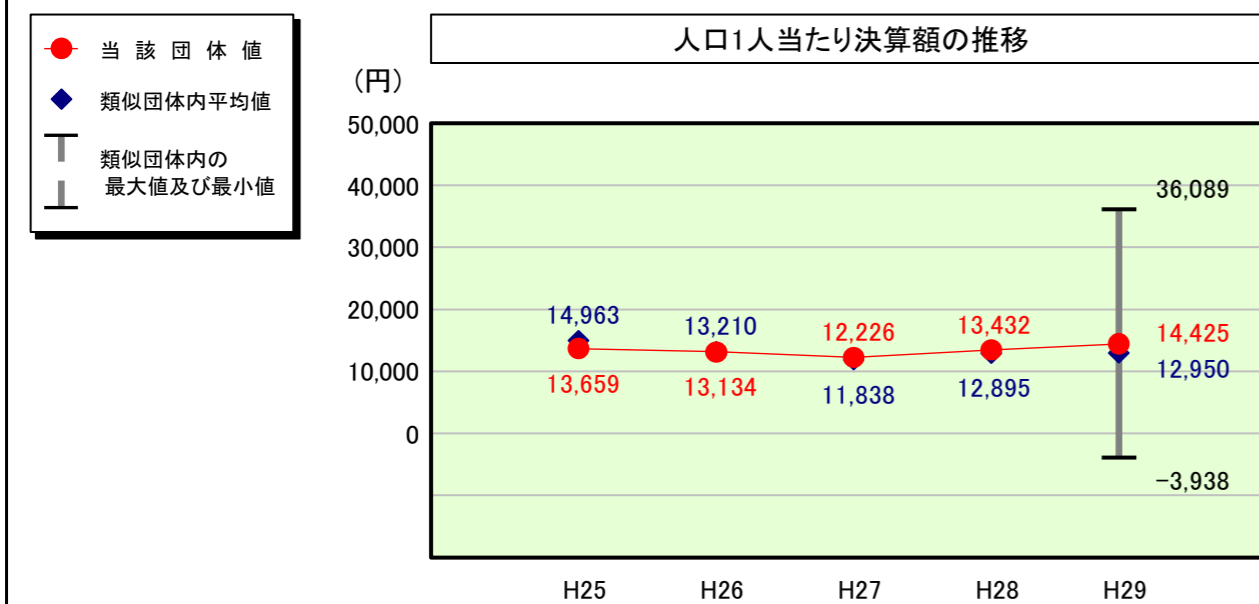
参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	4.63	6.42	▲ 1.79
ラスパイレス指数	97.6	97.3	0.3

(注) 人口については、各調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

(注) 参考については、地方公務員給与実態調査に基づくものであるが、当該資料作成時点(平成31年1月末時点)において平成30年調査結果が未公表であるため、前年度の数値を引用している。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

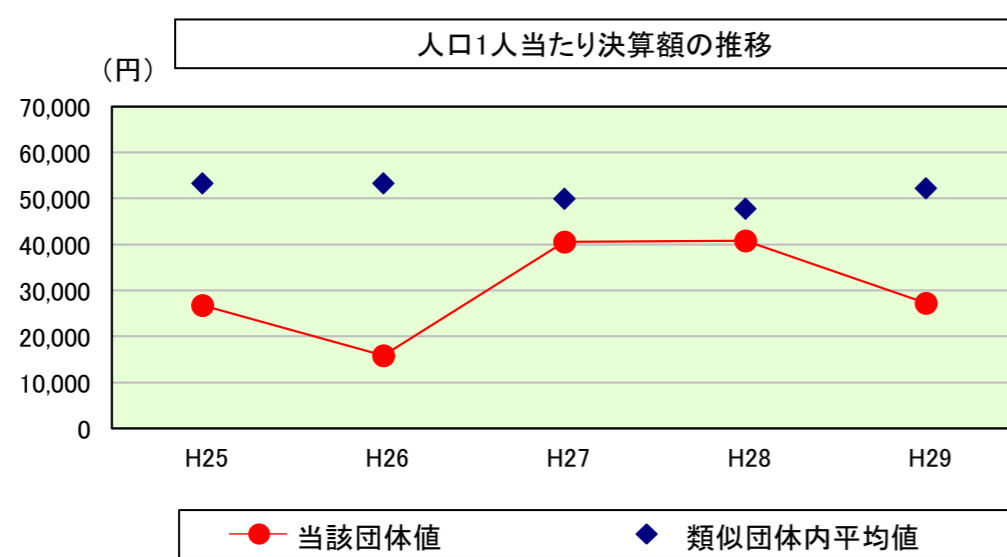


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	562,655	20,035	31,321	▲ 36.0
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	-	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	308,027	10,968	9,685	13.2
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	54,057	1,925	2,454	▲ 21.6
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	72,216	2,571	1,182	117.5
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	1	-
▲特定財源の額	-	-	▲ 3,213	-
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 591,835	▲ 21,074	▲ 28,480	▲ 26.0
合計	405,120	14,425	12,950	11.4

※平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

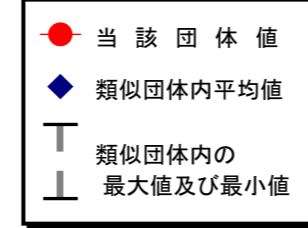
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H25	727,562	26,715	▲ 23.7	53,270	13.8	▲ 37.5
うち単独分	496,818	18,243	▲ 42.6	24,316	0.8	▲ 43.4
H26	433,851	15,850	▲ 40.7	53,292	0.0	▲ 40.7
うち単独分	289,972	10,594	▲ 41.9	28,900	18.9	▲ 60.8
H27	1,121,561	40,538	155.8	49,919	▲ 6.3	162.1
うち単独分	951,795	34,402	224.7	26,398	▲ 8.7	233.4
H28	1,136,538	40,745	0.5	47,738	▲ 4.4	4.9
うち単独分	762,532	27,337	▲ 20.5	24,937	▲ 5.5	▲ 15.0
H29	765,900	27,272	▲ 33.1	52,191	9.3	▲ 42.4
うち単独分	581,958	20,722	▲ 24.2	24,843	▲ 0.4	▲ 23.8
過去5年間平均	837,082	30,224	11.8	51,282	2.5	9.3
うち単独分	616,615	22,260	19.1	25,879	1.0	18.1

(5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

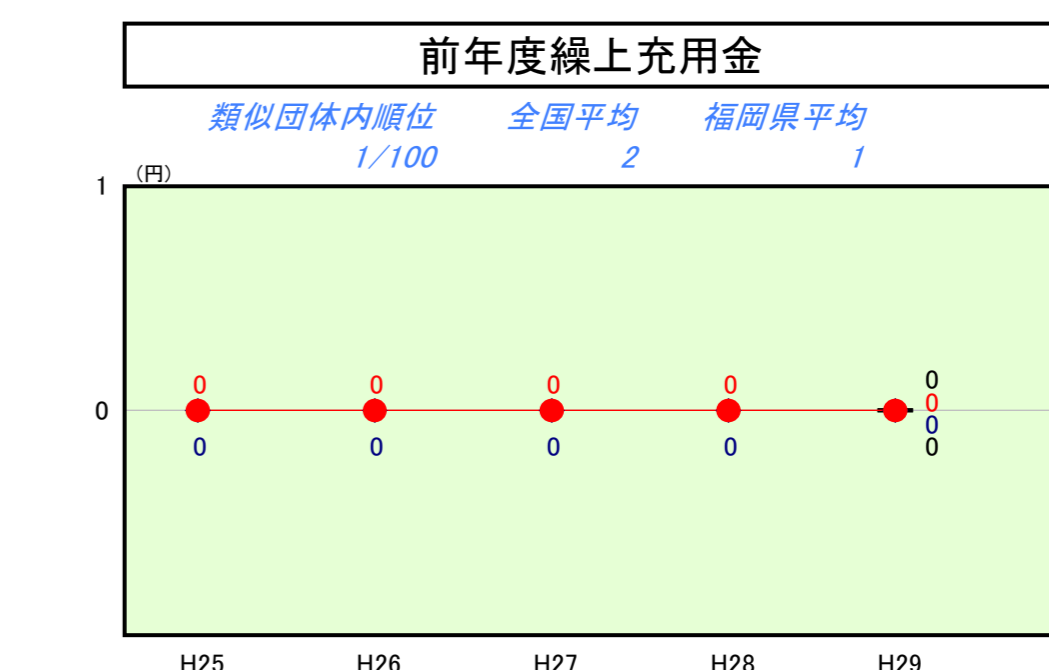
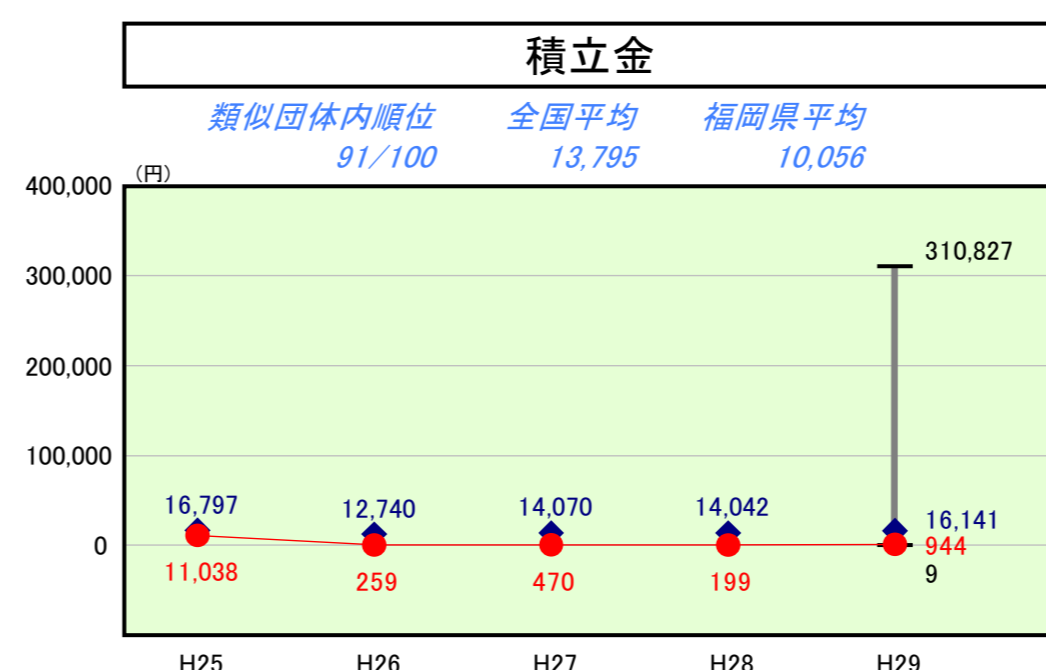
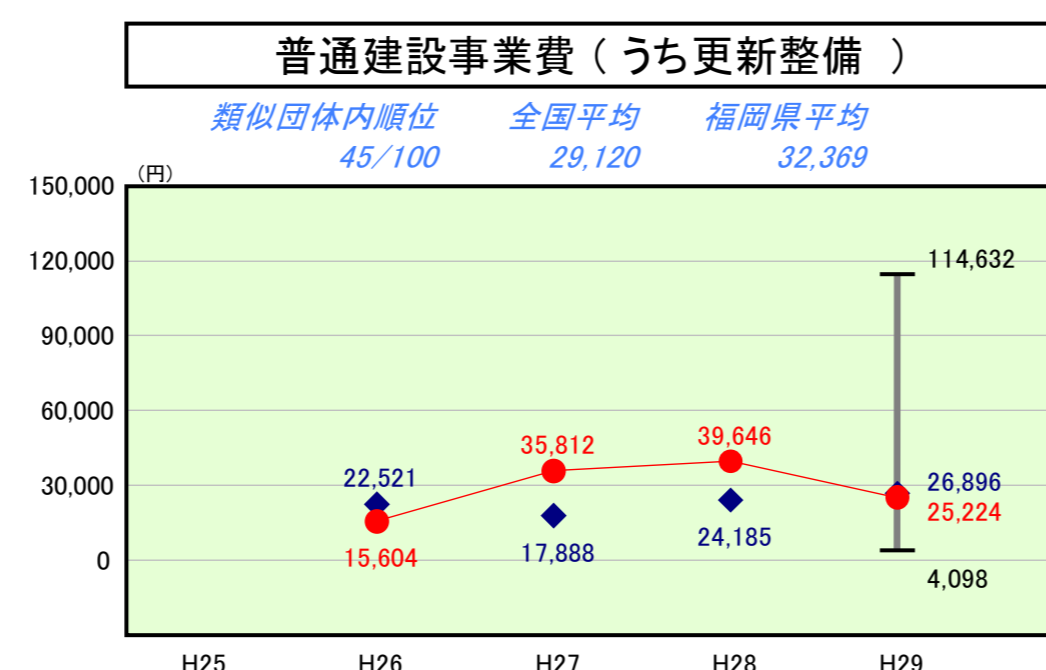
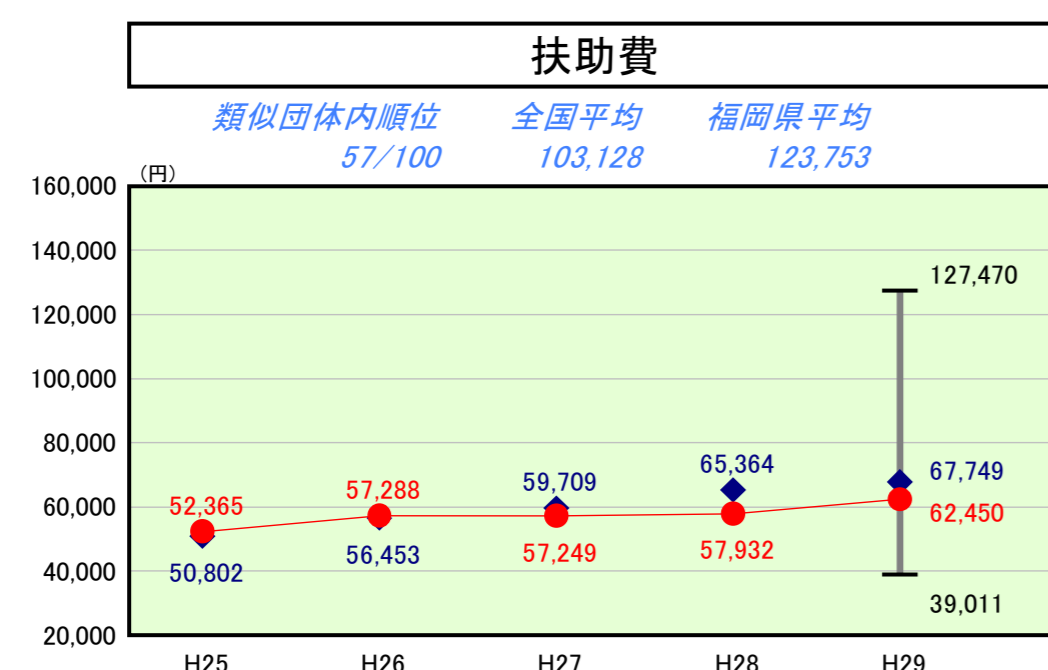
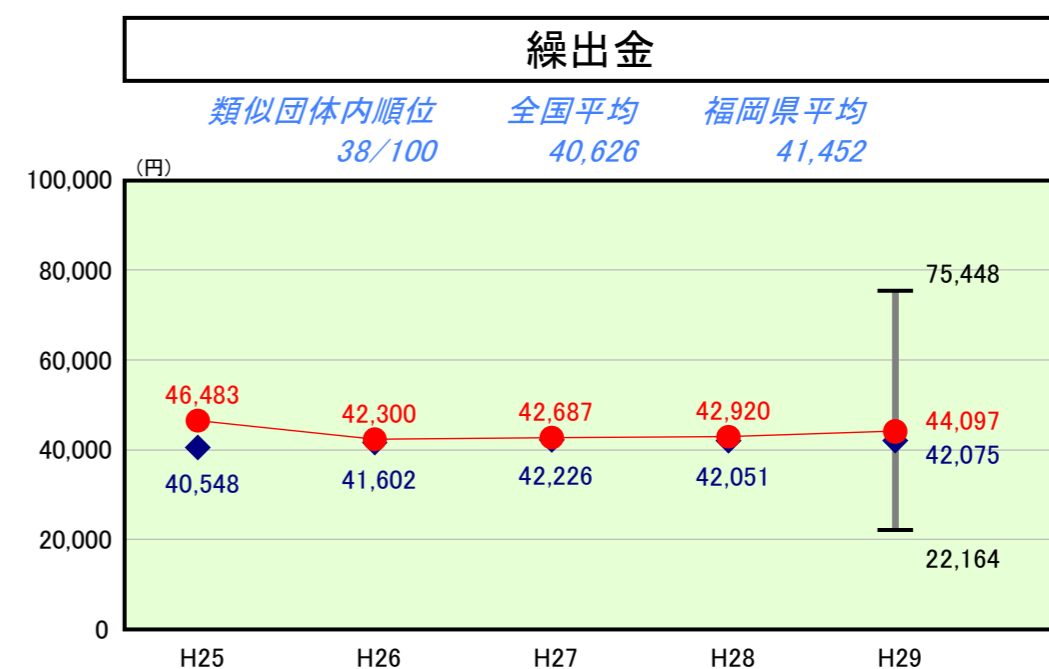
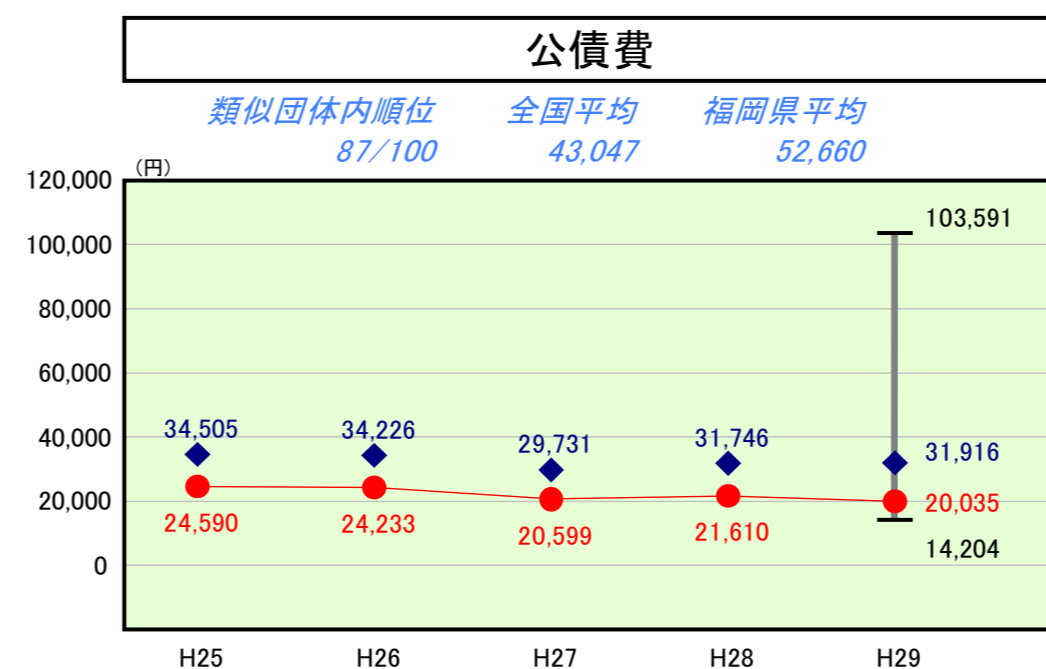
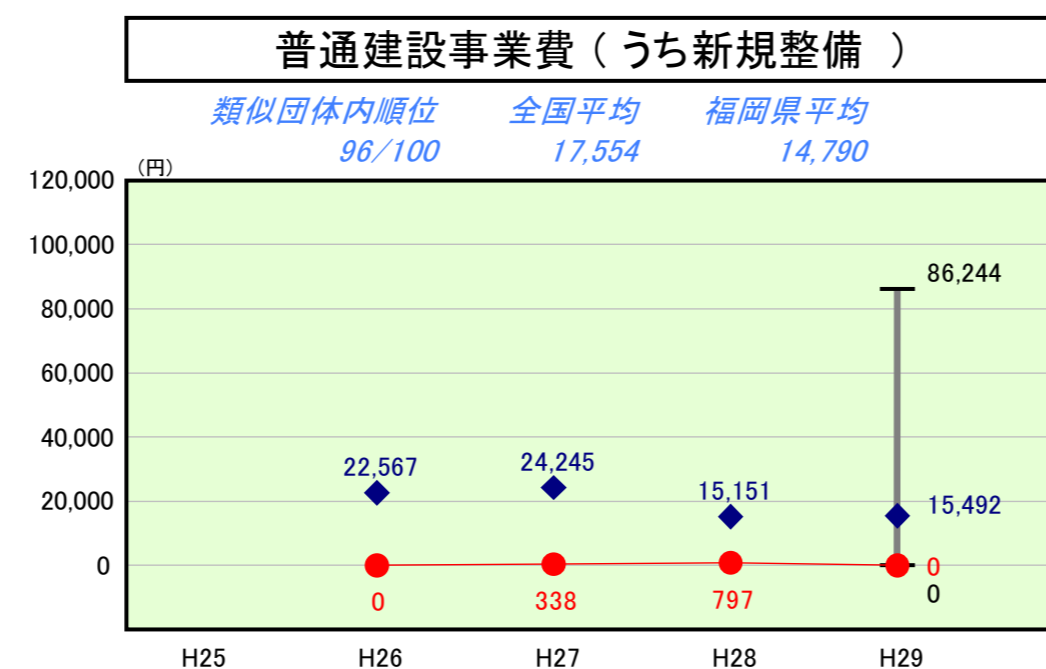
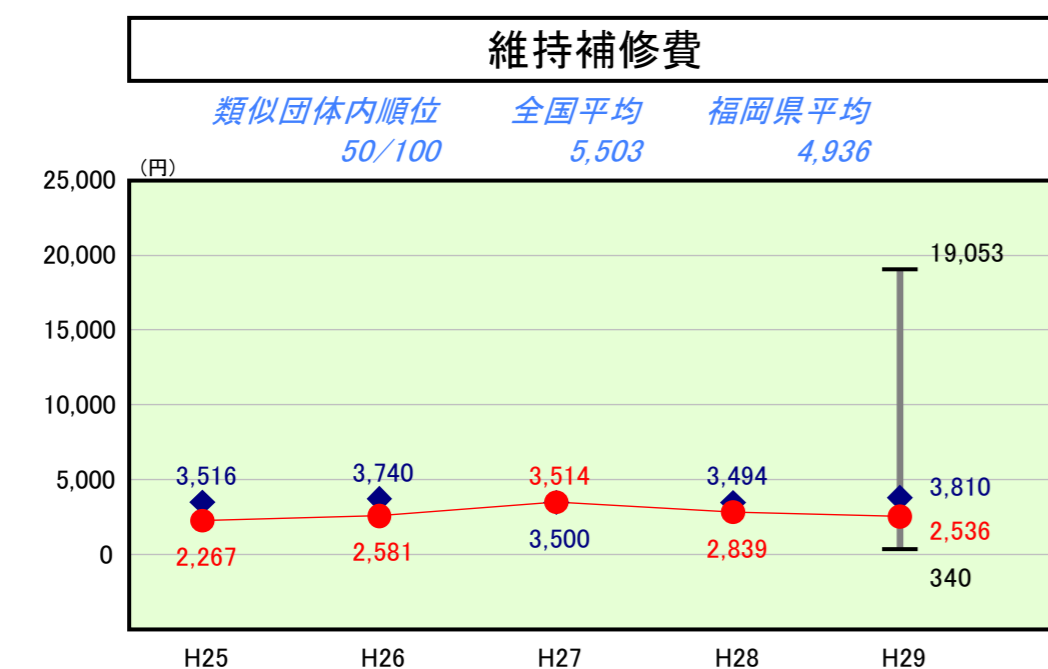
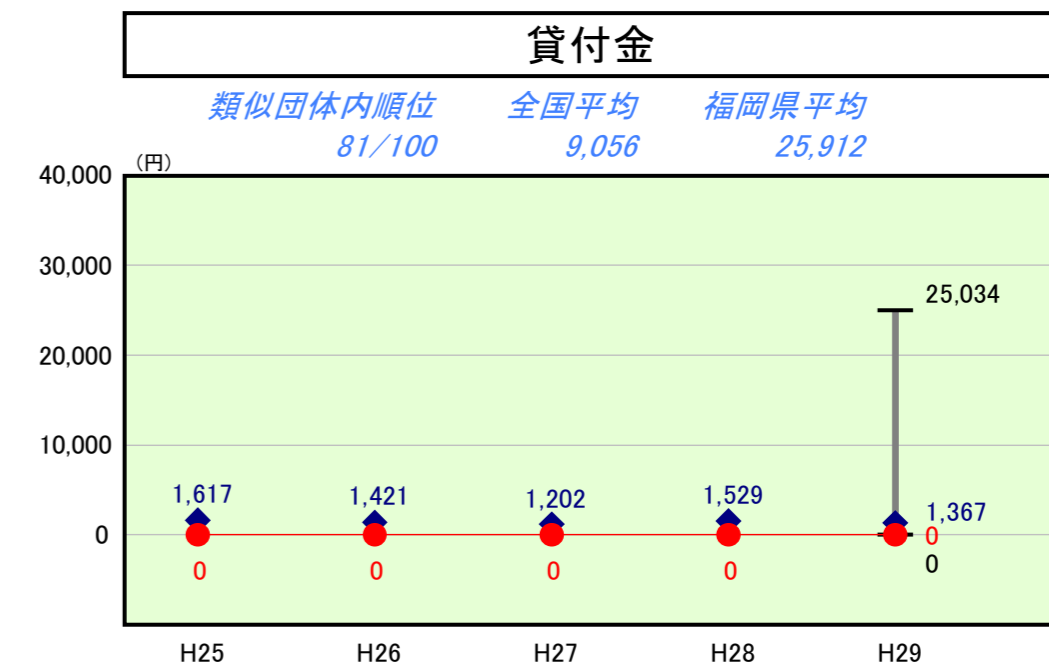
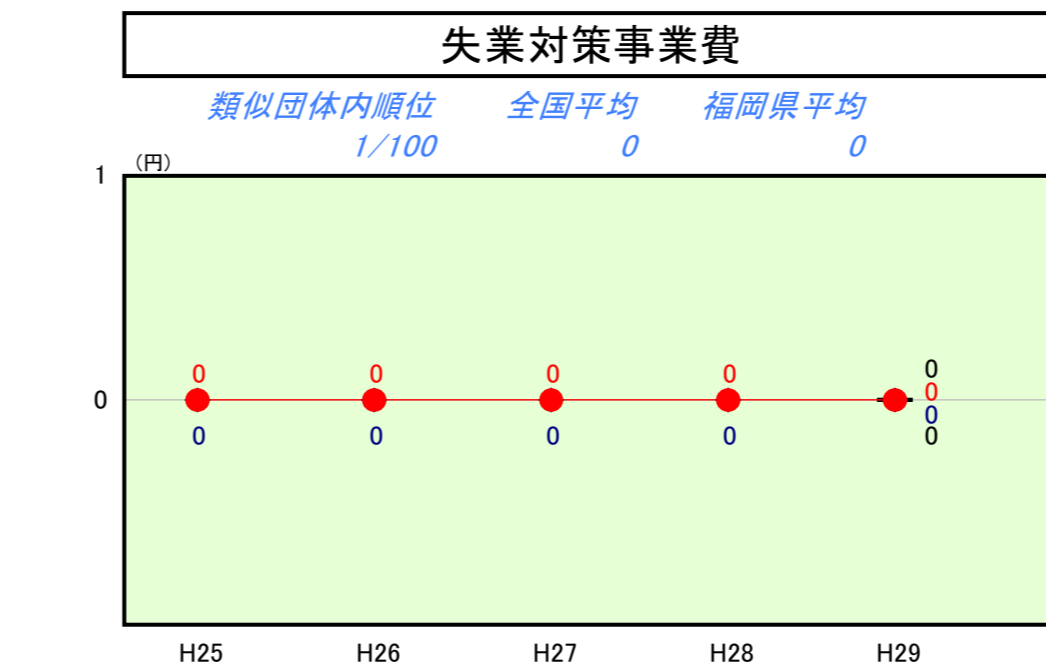
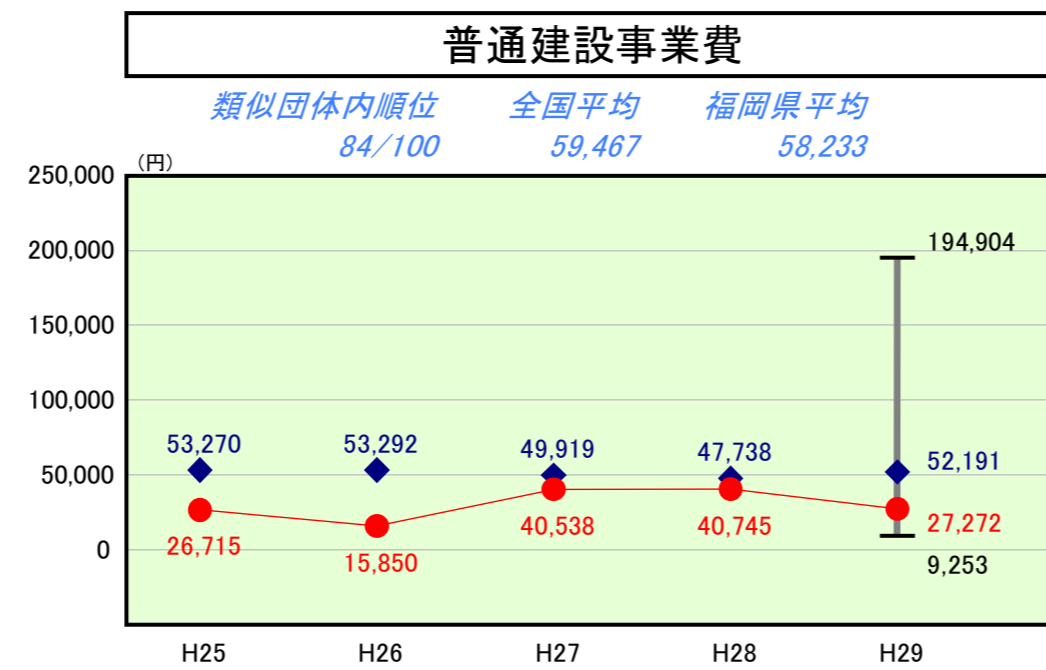
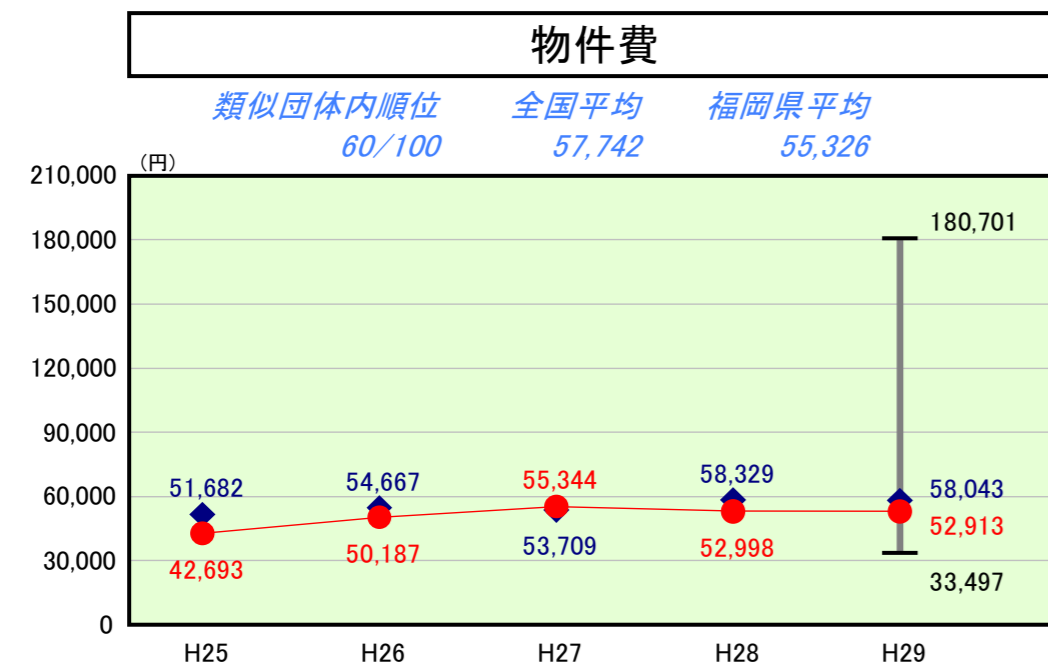
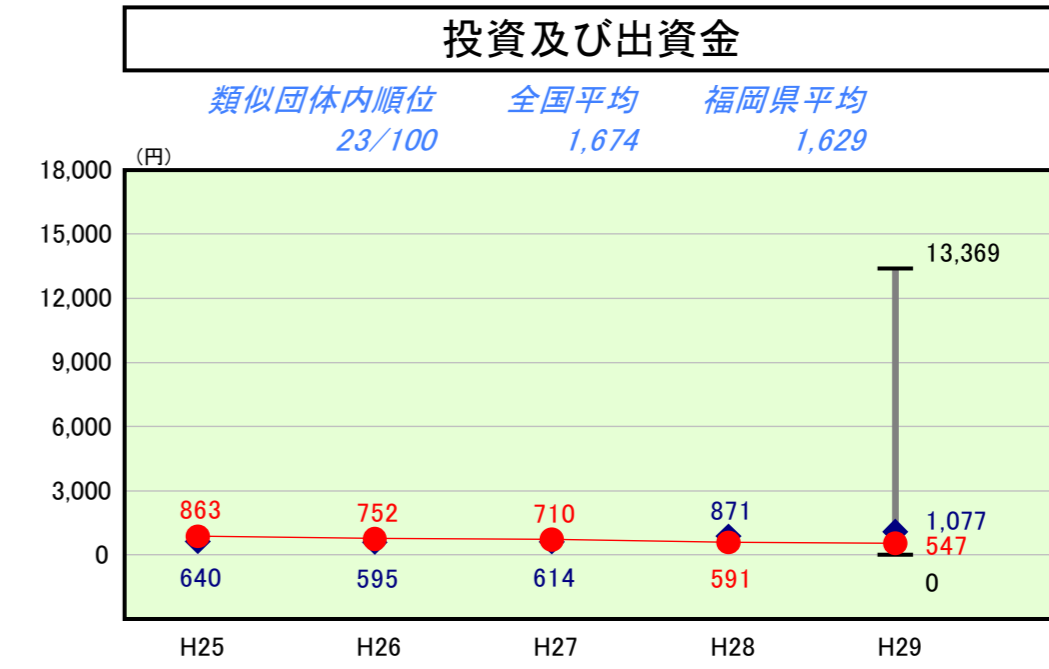
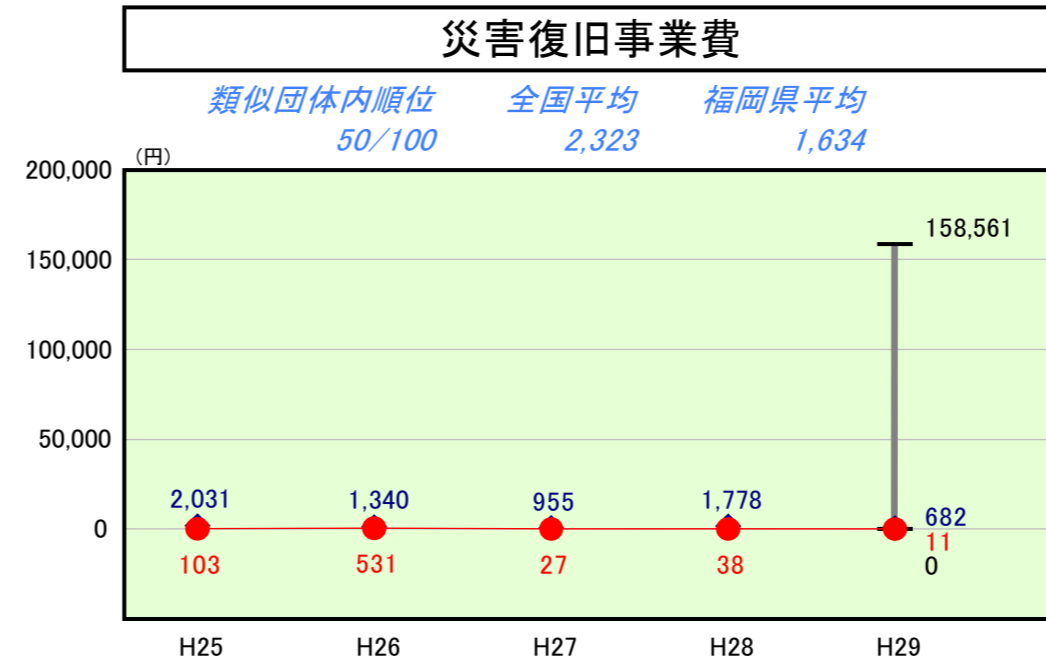
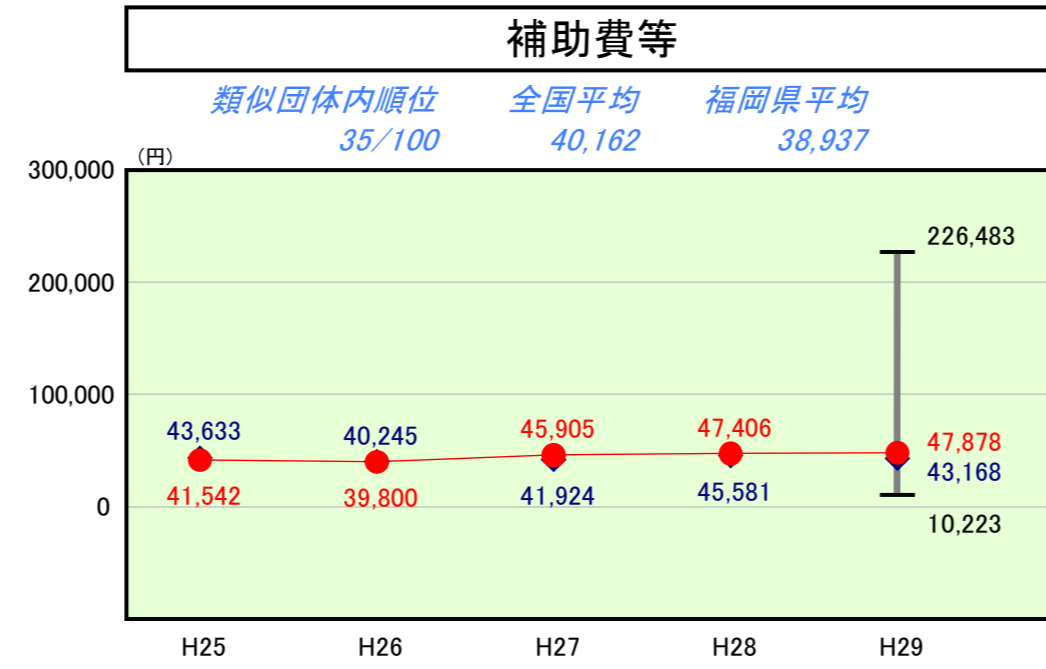
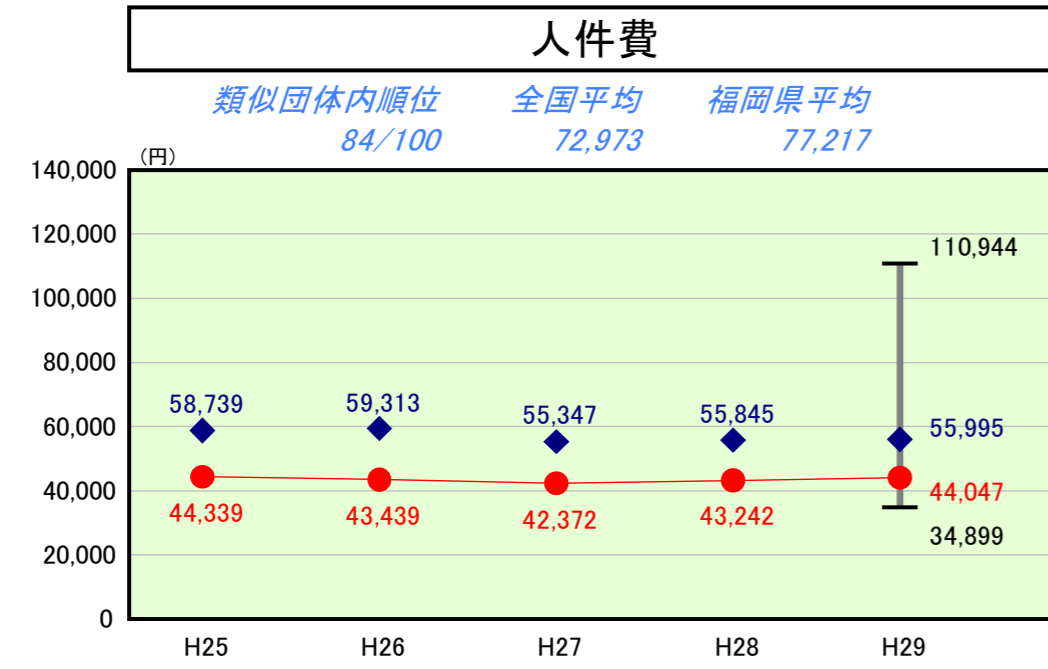
平成29年度

福岡県須恵町

人口	28,084人(H30.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	27,858人(H30.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	16.31km ²	実質公債費比率	7.6%
歳入総額	8,841,499千円	将来負担比率	49.4%
歳出総額	8,501,835千円	市町村類型	H25 V-2 H26 V-2 H27 V-2
実質収支	339,664千円	(年度毎)	H28 V-2 H29 V-2
標準財政規模	5,535,790千円		
地方債現在高	6,681,394千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析欄

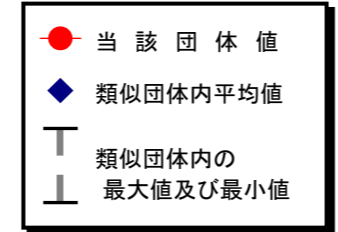
歳出決算総額は、住民一人当たり302,730円で前年度と比較し7,790円の減となっている。
 性質別歳出で類似団体とかい離が大きなものは、人件費、普通建設事業費、公債費、積立金であり、いずれも類似団体を下回っている。
 人件費は44,047円で、類似団体よりも11,948円低い数値となっているが、10年以上前から職員数の縮減を進めており、以降類似団体と比較しても常に低い水準を維持できている。
 普通建設事業費は、新規整備分は平成29年度は0円だったが、更新整備分が類似団体と同水準の数値となっており、教育施設や幼稚園の更新に係る経費が増加している。今後も既存公共施設の修繕等が控えているが、事業費の縮小を目指し努力していく。
 公債費は、近年減少傾向にあったが、平成27年度以降は、学校教育施設等の大規模改修や幼稚園2園の更新等により下げ留まりとなっている。今後もこの水準を維持できるよう、公共施設等総合管理計画を活用し償還費の平準化を目指す。
 積立金は、平成25年度までは不動産売却収入等で毎年基金を増額出来ていたが、今後は施設の更新等により積立よりも基金の取崩しが上回ることが見込まれる。年々事業の縮減を押し進めてはいるが、歳入金額が歳出金額を下回らないよう更に事業の見直しと同時にふるさと応援寄附金等歳入の増収についても取り組んでいく。

(6) 市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

平成29年度

福岡県須恵町

人口	28,084人(H30.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	27,858人(H30.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	16.31km ²	実質公債費比率	7.6%
歳入総額	8,841,499千円	将来負担比率	49.4%
歳出総額	8,501,835千円	市町村類型	H25 V-2 H26 V-2 H27 V-2
実質収支	339,664千円	(年度毎)	H28 V-2 H29 V-2
標準財政規模	5,535,790千円		
地方債現在高	6,681,394千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



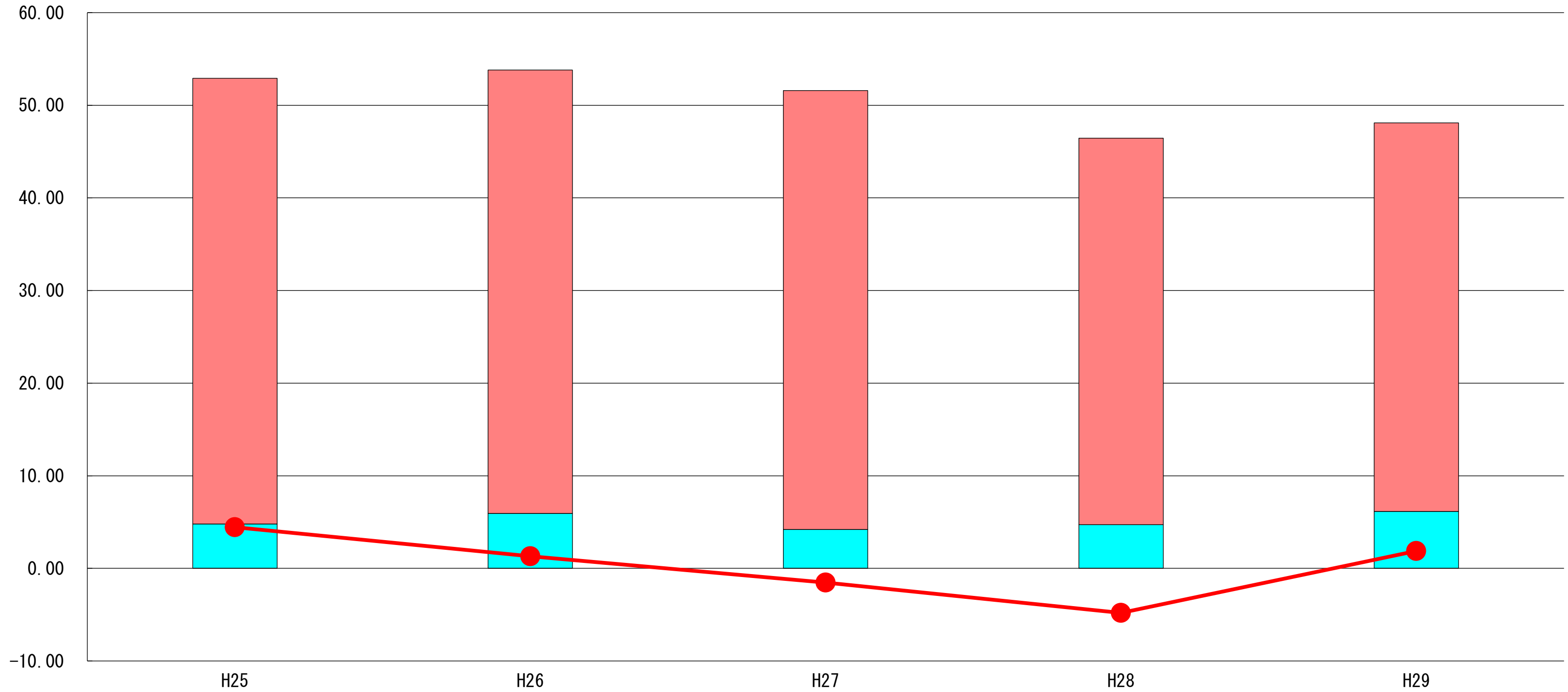
目的別歳出の分析欄
 類似団体よりも高い数値となっているのは、議会費、民生費で、それもわずかな数値にとどまっており、それ以外は類似団体よりも低い数値で推移できている。
 中でも、総務費、土木費、公債費は大きく下回っており、総務費は、十数年前より新規職員の採用を抑制しており、類似団体よりも人件費を縮減できていることが要因と考えられる。
 土木費は、道路や橋梁等のインフラにかかる工事を必要最低限の範囲のみ実施しており、それは教育施設等にかかる普通建設事業費の増額によって土木費に充当できる事業費が抑制されてしまっていることが要因といえる。
 公債費は、十数年前に新規借入した借入額の大きな町債が償還終了を迎えてきており、加えて借入の抑制を実施している成果が数値に現れており、今後もこの水準を維持できるよう努力していく。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析 (市町村)




平成29年度

福岡県須恵町

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

区分	年度	H25	H26	H27	H28	H29
 財政調整基金残高		48.12	47.86	47.41	41.74	41.95
 実質収支額		4.80	5.94	4.19	4.71	6.14
 実質単年度収支		4.45	1.30	▲ 1.52	▲ 4.81	1.87

分析欄

平成26年度までは、実質収支額及び実質単年度収支ともに黒字で推移していたが、平成27年度で実質単年度収支はマイナスとなった。これは、新規幼稚園の建設等臨時的な事業を実施したためであるが、それによる基金の取崩しは最低限で抑えることが出来た。しかし、平成28年度では財源の補てんとして基金を3億取崩し、更なる悪化となった。平成29年度は、基金の取崩しを必要最小限で抑えることができ、再び黒字に転じることができた。

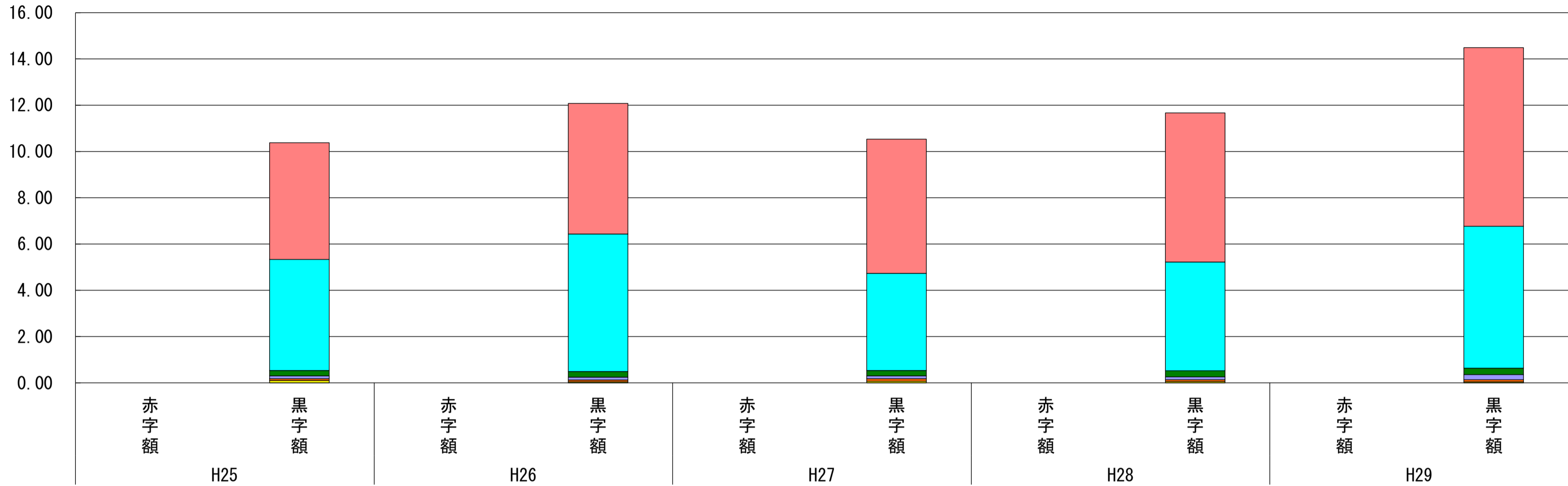
今後は小中学校など既存公共施設の改修・更新の事業が見込まれ基金残高の維持は難しいと思われる。早急に公共施設の個別計画を策定し、公共施設等適正配置に係る地方債の活用を視野に入れた長期的・計画的な財政計画により、この水準を改善し

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析 (市町村)

平成29年度

福岡県須恵町

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

会計	年度	H25	H26	H27	H28	H29
水道事業会計		5.05	5.65	5.80	6.44	7.72
一般会計		4.79	5.94	4.19	4.70	6.13
後期高齢者医療特別会計		0.24	0.24	0.24	0.26	0.28
公共下水道事業特別会計		0.12	0.12	0.12	0.12	0.22
国民健康保険特別会計		0.08	0.08	0.11	0.08	0.09
農業集落排水事業特別会計		0.10	0.05	0.07	0.06	0.05
その他会計 (赤字)		-	-	-	-	-
その他会計 (黒字)		-	-	-	-	-

分析欄

平成29年度は、一般会計をはじめ特別会計、水道事業会計すべての会計において黒字決算であり、一般会計については、事業費補てん分として基金からの取崩し財源は0であった。しかし国民健康保険特別会計については、類似団体と比較して医療費の支出額が多く、赤字額の補てん分として77,000千円を一般会計から繰入しており、実質赤字収支と言える。

また農業集落排水事業特別会計では、一般会計より45,000千円の繰入、公共下水道事業特別会計に関しても年々繰入金額が増加傾向にあり、268,489千円を一般会計から繰入している。現在も管渠工事がまだ町全体までは完了しておらず、今後新規延長工事や更新工事が控えている。平成22年度に利用料金の見直しをおこなっているが、今後多くの資金確保が必要なことから再度料金の見直しを検討する時期にきている。

水道事業会計については、一般会計からの赤字補てんはおこなっておらず、独立して採算が取れている。

水道事業会計だけでなく、他の特別会計を含めすべての事業の集約やコンパクト化を図り、町全体の財政健全化に努めていく。

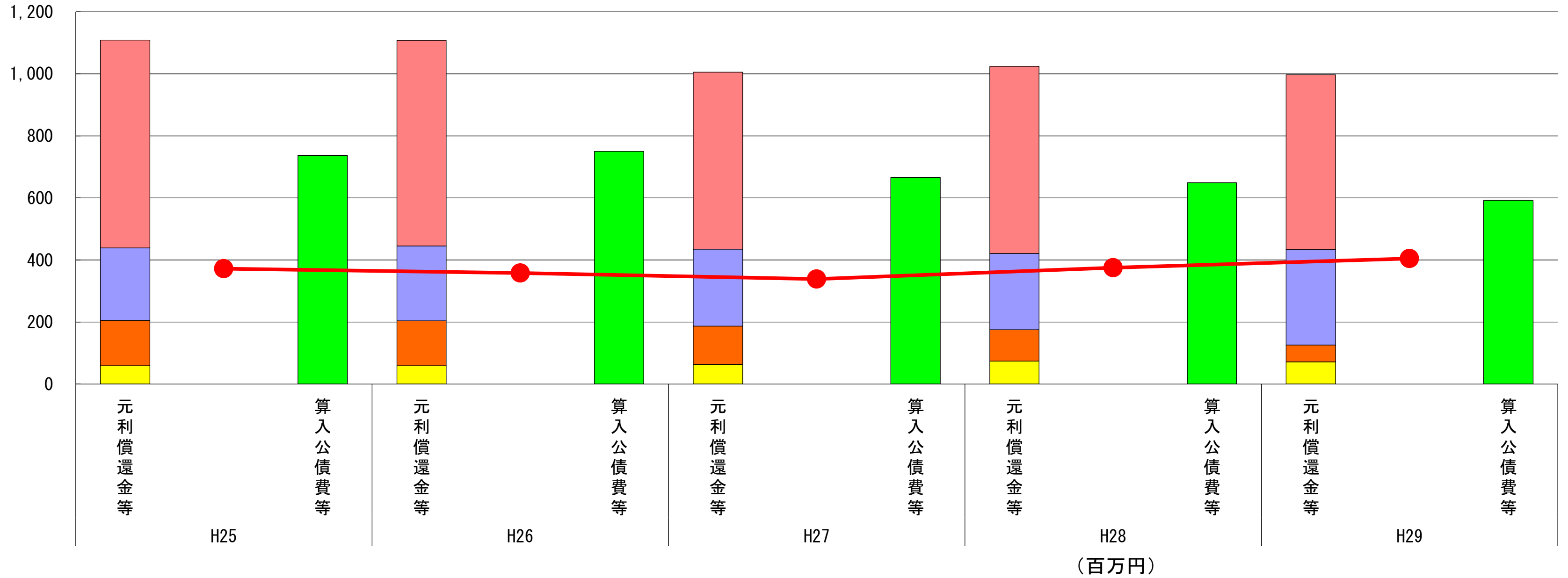
※平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成29年度

福岡県須恵町

(百万円)



分子の構造		年度	H25	H26	H27	H28	H29
元利償還金等 (A)	元利償還金		670	663	570	603	563
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		233	241	248	246	308
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		147	145	124	101	54
	債務負担行為に基づく支出額		59	59	63	74	72
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		737	750	666	649	592
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		372	358	339	375	405

分析欄

実質公債費比率は、平成28年度の7.4から0.2ポイント上昇し7.6となつてはいるが、5年前の平成25年度では9.5だったため元利償還金の減少に伴い年々減少傾向であると言える。

元利償還金については順調に減少しており、近年二箇所の幼稚園の更新、学校教育施設の耐震補強・大規模改造工事等が続き平成28年度では増加したが、平成29年度は再度減額となつた。

ただ、公営企業債の元利償還金に対する繰入金に関しては、公共下水道事業特別会計分がここ数年は増加傾向にあり、今後もその傾向が続くことが予測される。

また、債務負担行為に基づく支出額でも、電算関係のセキュリティ関連やクラウド化に伴う支出が年々増加している。

組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等については、清掃施設組合に対する分が少しずつ償還終了を迎えており、減少傾向にある。

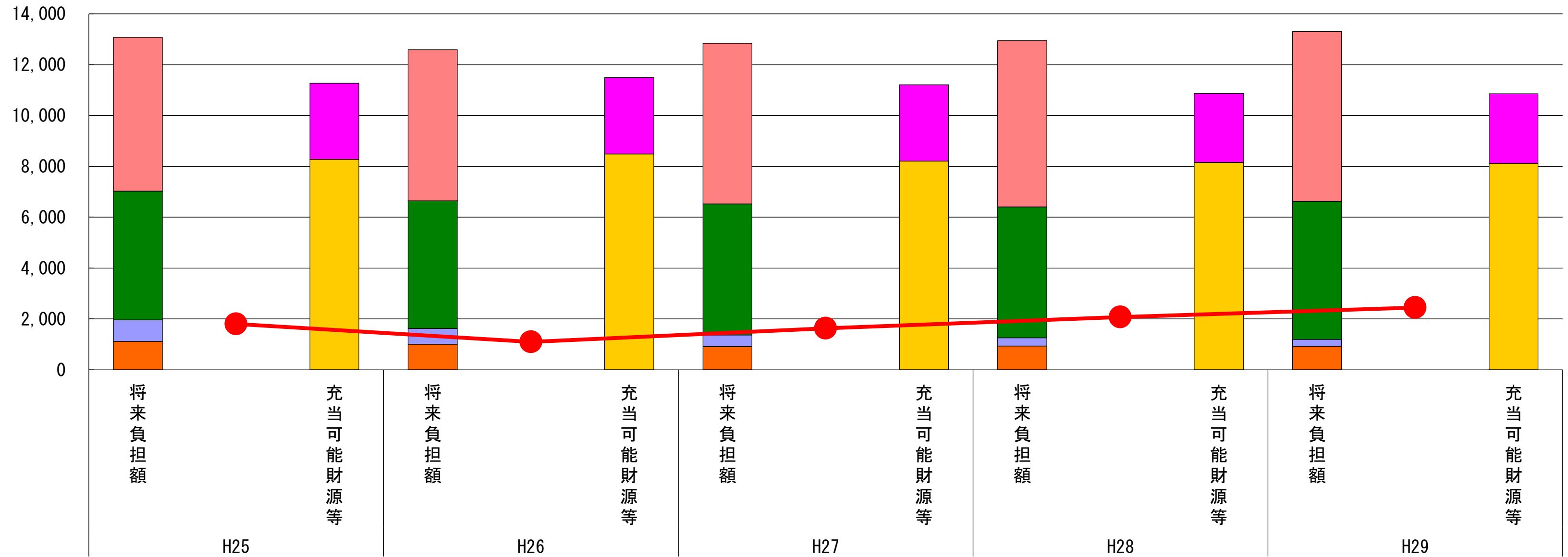
※平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成29年度

福岡県須恵町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H25	H26	H27	H28	H29
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		6,046	5,946	6,321	6,537	6,681
	債務負担行為に基づく支出予定額		2	2	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額		5,060	5,029	5,152	5,152	5,430
	組合等負担等見込額		855	611	457	325	272
	退職手当負担見込額		1,112	1,006	914	931	921
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
	充当可能基金		2,992	2,999	3,009	2,714	2,738
	充当可能特定歳入		-	-	-	6	-
	基準財政需要額算入見込額		8,283	8,495	8,204	8,150	8,122
(A) - (B)	将来負担比率の分子		1,799	1,101	1,631	2,075	2,444

分析欄

将来負担比率が、平成28年度の42.6から平成29年度の49.4へ6.8ポイントも上昇している要因は、地方債の現在高が平成28年度と比較して144百万円増加したことと公営企業債等繰入見込額が278百万円増加したことによる。

一般会計等に係る地方債の現在高は、二箇所の幼稚園更新や学校教育施設の耐震補強・大規模改造工事等に伴う起債等が影響し一時的に上昇した。しかし残り数年で償還終了を迎える高額の地方債も控えており、新規借入額よりも償還額が上回ることが予想されるので、再び減少に向かうと考えられる。

公営企業債等繰入見込額は、公共下水道事業特別会計の地方債償還額の増加により年々増加傾向にあり、しばらくはこの傾向は続くと思われる。

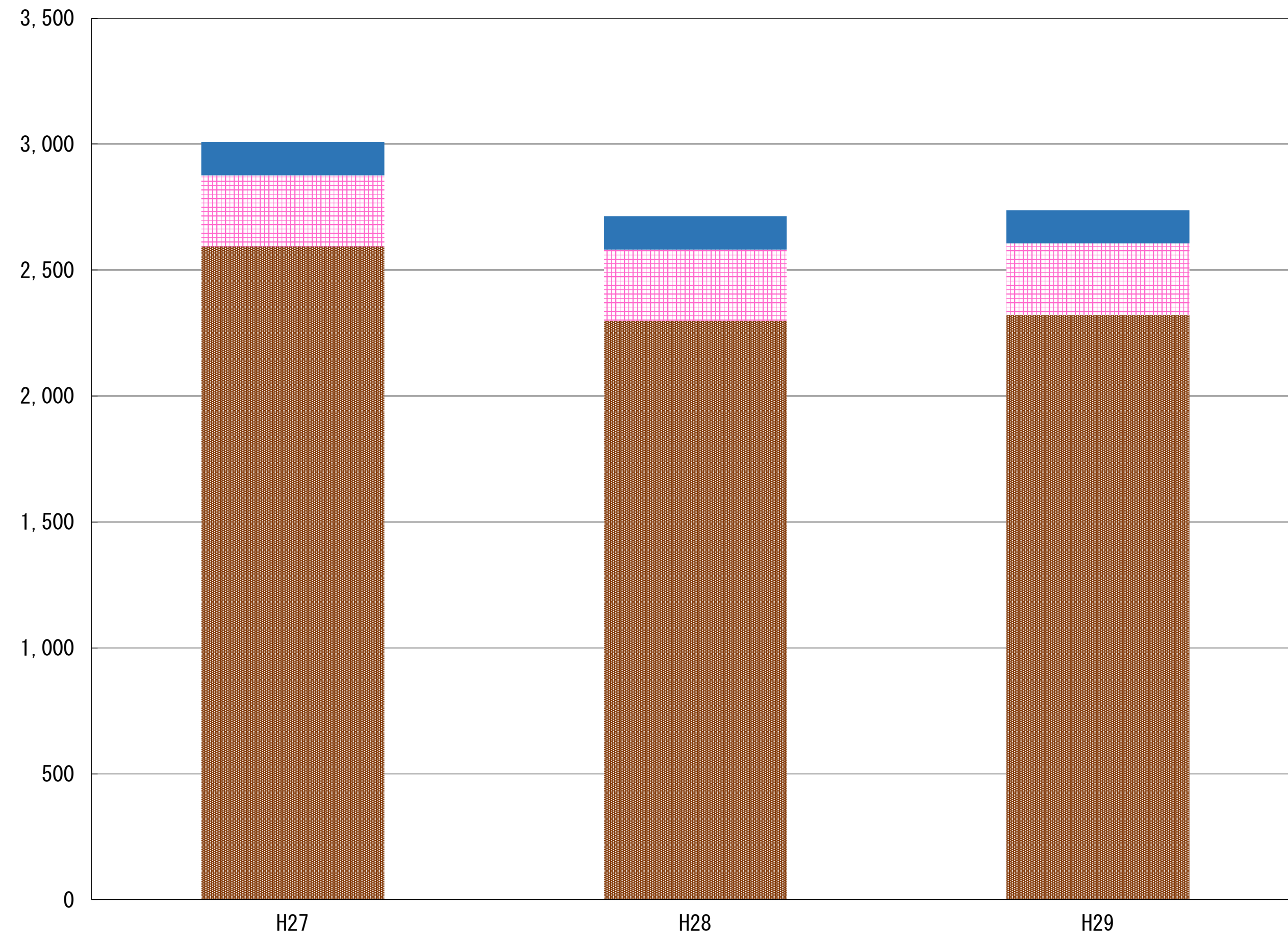
しかし、充当可能財源である財政調整基金が現状を維持できるかは非常に厳しい財政状況であり、今後公共施設の更新等で取り崩すことが予測され将来負担比率の悪化が懸念される。

年々財政的に厳しくなるが、事業の内容・必要性を個別に再検討し今の町の規模・ニーズに見合った、最小限の財源で最大の成果を目指し、起債に依存しない財政運営に努め、現在の水準が類似団体の数値に近づくよう努める。

※平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）

（百万円）



（百万円）

区分	年度	H27	H28	H29
財政調整基金		2,594	2,299	2,322
減債基金		283	283	284
その他特定目的基金		132	132	132
水道水源保全基金		112	112	112
自然教育林基金		20	20	20
基金残高合計		3,009	2,714	2,738

平成29年度

福岡県須恵町

基金全体

（増減理由）

財政調整基金については、平成28年度にアザレア幼児園の建替えや須恵東中学校大規模改造工事など大規模な公共事業を実施したため財源の補てん分として3億円を取崩しており大きく減額した。一方で決算剰余金での積み立ては近年出来ておらず、臨時的な不動産売り払収入や寄附金等のみにとどまっている。
財政調整基金以外の基金については、近年取崩しはなく利息分の積み立てによる微増が続いている。

（今後の方針）

基金の用途の明確化を図るために、財政調整基金の残高を一定に保ちつつ、公共施設の管理を目的とした特定目的基金に積み立てしていくことを予定している。
ふるさと応援寄附金について、今後新たに特定目的基金を創設し、全額を積み立てて必要に応じて事業に充当することを予定している。

財政調整基金

（増減理由）

平成28年度に、財源補てん分として3億円を一般会計へ繰入し大きく残高を下けている。
増加要因としては、不動産売払や寄附金の収入があれば原則全額基金への積立としている。
近年は、決算剰余金としての積立はできておらず逆に財源補てん分の取崩が増加傾向にある。

（今後の方針）

公共施設の改修や更新が目前に控えているため、財源補てん分としての取崩しは最小限となるよう、事業の抑制を行なっている。
今後は、財政調整基金の残高は標準財政規模の10%を目処とするよう努め、上回る分は公共施設の整備に充てる基金として新たな基金を整備し積み立てる見込みである。

減債基金

（増減理由）

ここ数年は、償還のための取崩しは実施しておらず、定期預金としての利息分を積み立てるのみの増加となっている。

（今後の方針）

年々地方債の償還額は減少傾向にあり、近年中に減債基金を取り崩しての償還は計画してはいないが、突発的な償還に備え現在の残高の維持に努めることとしている。

その他特定目的基金

（基金の用途）

水道水源保全基金：水道水源資源の保全、水道水の給水確保及び水源涵養事業などの推進を図る。
自然教育林基金：官民一体で森林機能の高揚をはかり、町土、水、緑、生活文化の保全と、美しい安らぎのある町づくりに資する。

（増減理由）

両基金において、ここ数年は、事業充当のための取崩しは実施しておらず、定期預金としての利息分を積み立てるのみの増加となっている。

（今後の方針）

現在ある水道水源保全基金、自然教育林基金については、該当事業実施までは現在の残高を維持できるよう努める。

(12) 市町村公会計指標分析／財政指標組合せ分析表

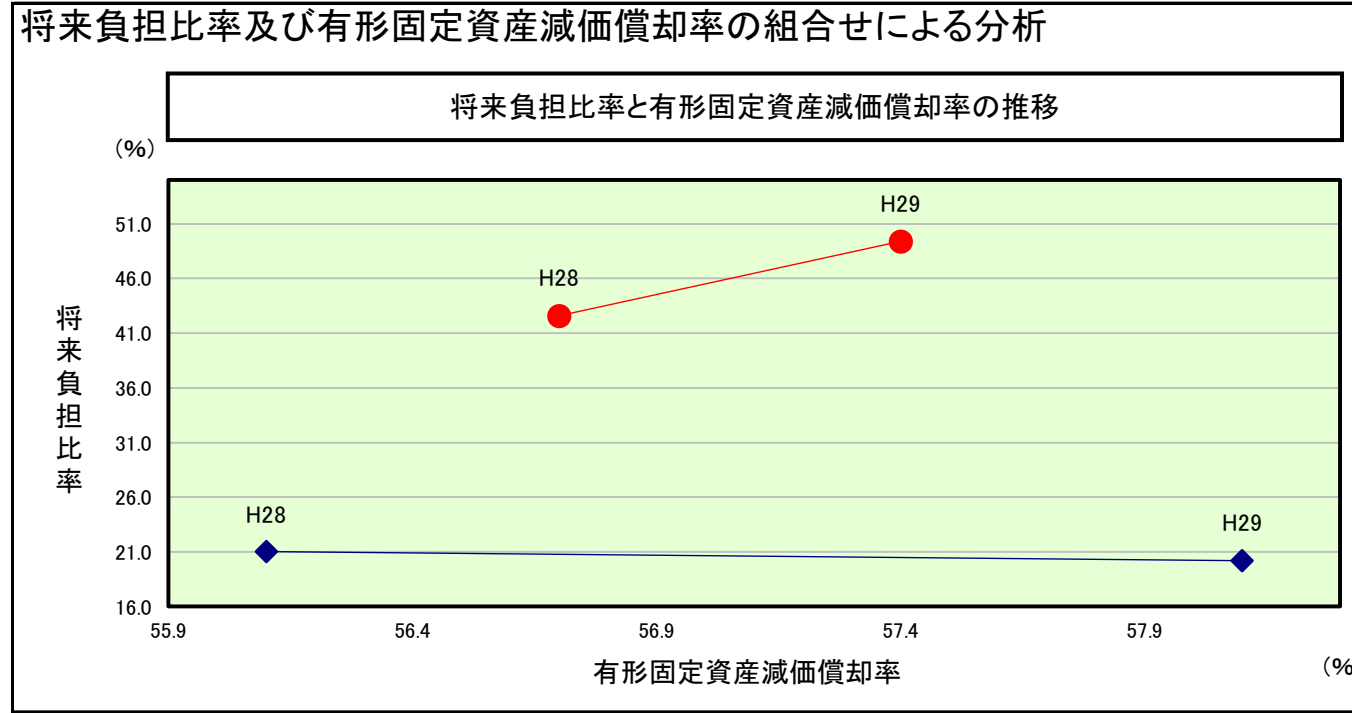
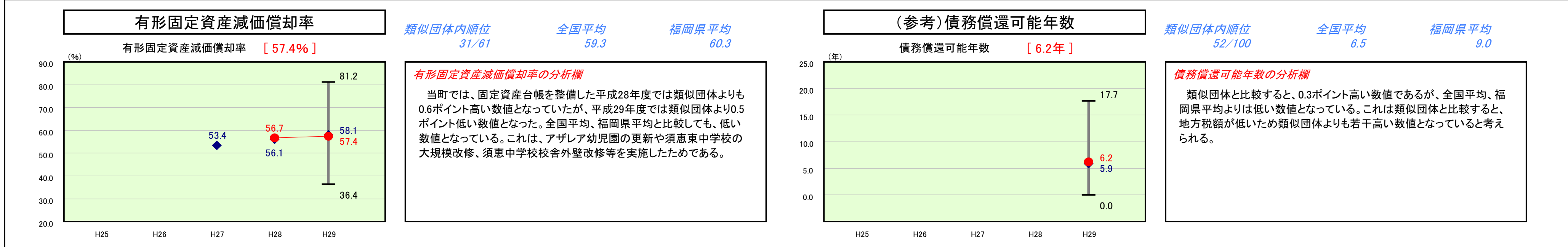
平成29年度

福岡県須恵町

人口	28,084 人 (H30.1.1現在)	実質赤字比率	- %
うち日本人	27,858 人 (H30.1.1現在)	連結実質赤字比率	- %
面積	16.31 km ²	実質公債費比率	7.6 %
歳入総額	8,841,499 千円	将来負担比率	49.4 %
歳出総額	8,501,835 千円	市町村類型	H25 V-2 H26 V-2 H27 V-2
実質収支	339,664 千円	(年度毎)	H28 V-2 H29 V-2
標準財政規模	5,535,790 千円		
地方債現在高	6,681,394 千円		

- 当該団体値
- ◆ 類似団体内平均値
- ┆ 類似団体内の最大値及び最小値

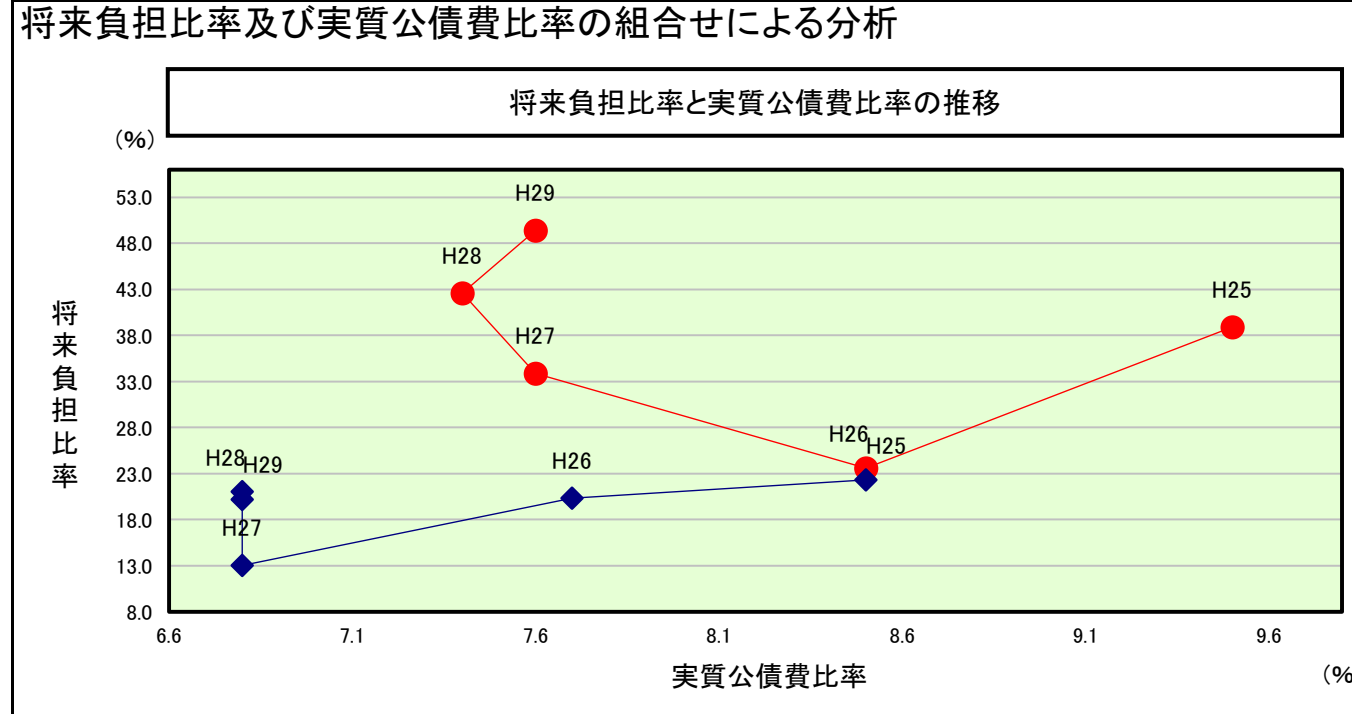
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
 ※ 平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体毎の決算に基づく健全化判断比率等を算出していない団体については、債務償還可能年数、実質公債費率、将来負担比率のグラフを表記しない。



分析欄
 類似団体と比較して将来負担比率がかなり高くなっているが、これは将来負担額中の公営企業債等繰入見込額の金額(公共下水道事業特別会計)の割合が高く、さらに年々増加傾向にあり、このことが数値上昇の主な要因となっている。一方で、地方債の現在高は、平成の初め頃に借入をおこなった金額や利率の高い地方債が次々と償還完了となってきており、今後は改善の傾向になっていくと推測される。

(参考)

当該団体値	将来負担比率	H25	H26	H27	H28	H29
	有形固定資産減価償却率				56.7	57.4
類似団体内平均値	将来負担比率				21.0	20.2
	有形固定資産減価償却率				56.1	58.1



分析欄
 類似団体と比較すると、1年遅れで類似団体と似たような軌跡を描いているものの将来負担比率の割合がかなり高い。実質公債費比率の構成要素のうち公営企業債等繰入額のみが増加傾向にあり他の項目は減少傾向にある。公共下水道事業特別会計での下水管の延長工事もまだ十数年はかかる見込みであり、繰出額の増加が収まる要素は無く、早急に下水道事業の計画を見直し、財政の平準化を計る必要がある。

(参考)

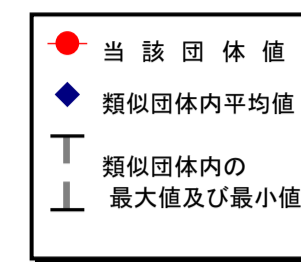
当該団体値	将来負担比率	H25	H26	H27	H28	H29
	実質公債費比率	9.5	8.5	7.6	7.4	7.6
類似団体内平均値	将来負担比率	22.3	20.3	13.0	21.0	20.2
	実質公債費比率	8.5	7.7	6.8	6.8	6.8

(13)-1市町村施設類型別ストック情報分析表①

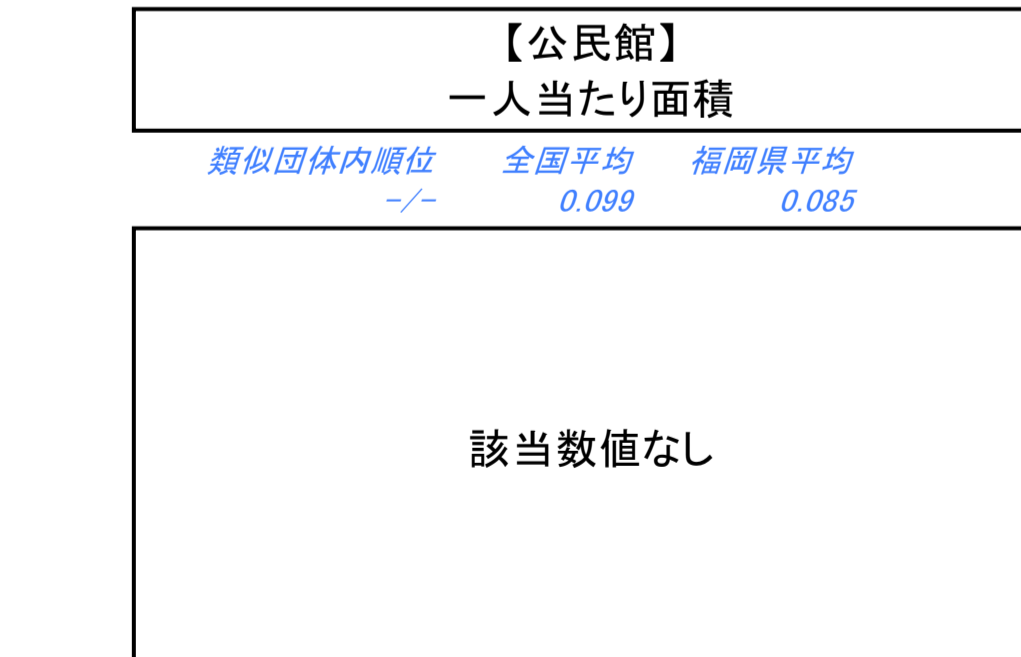
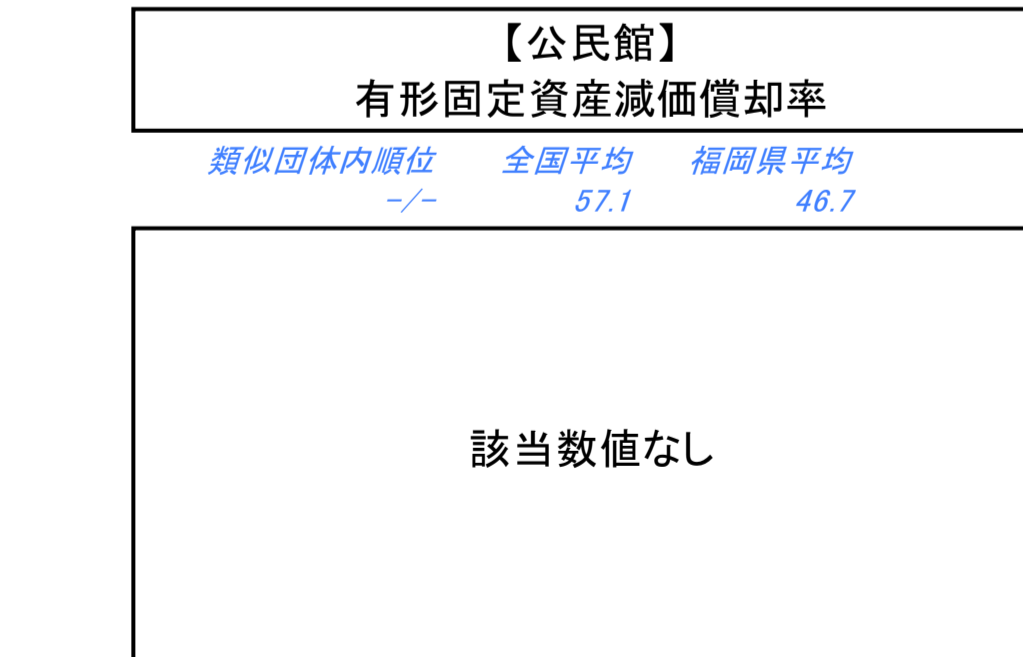
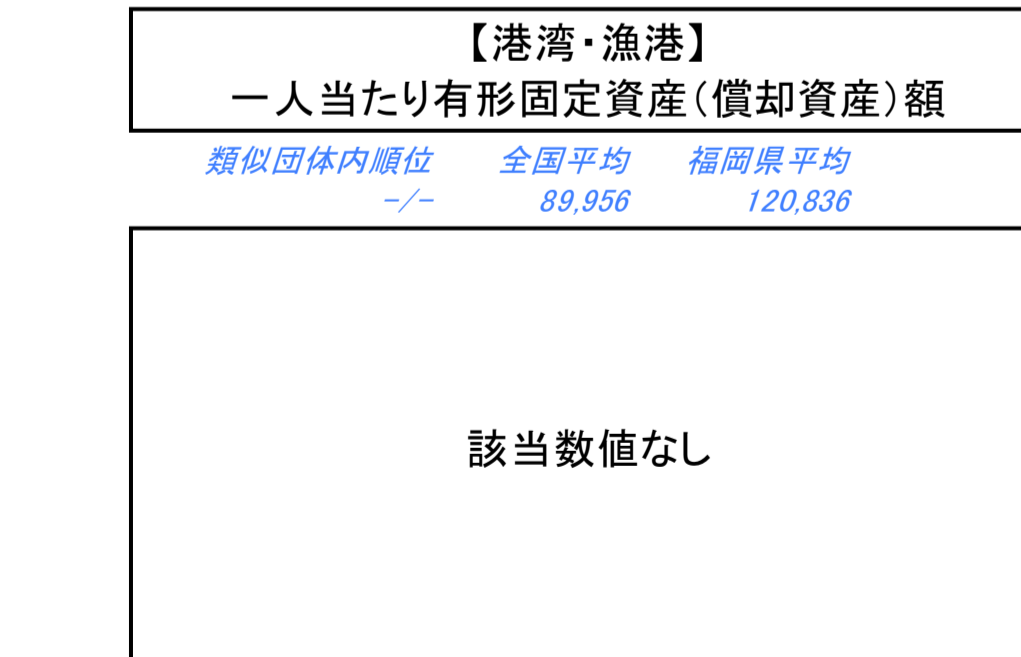
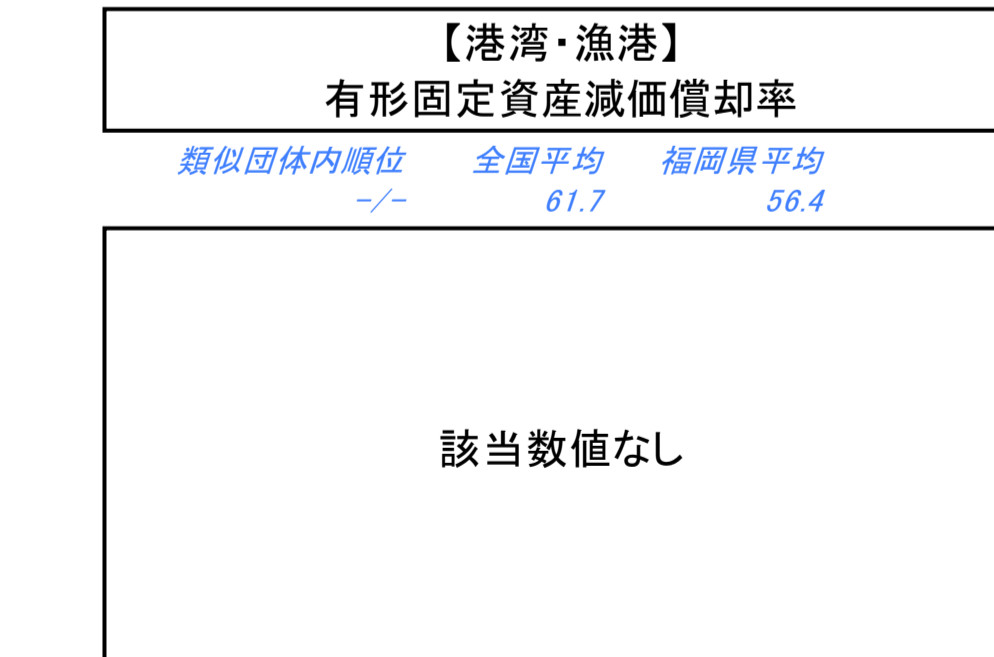
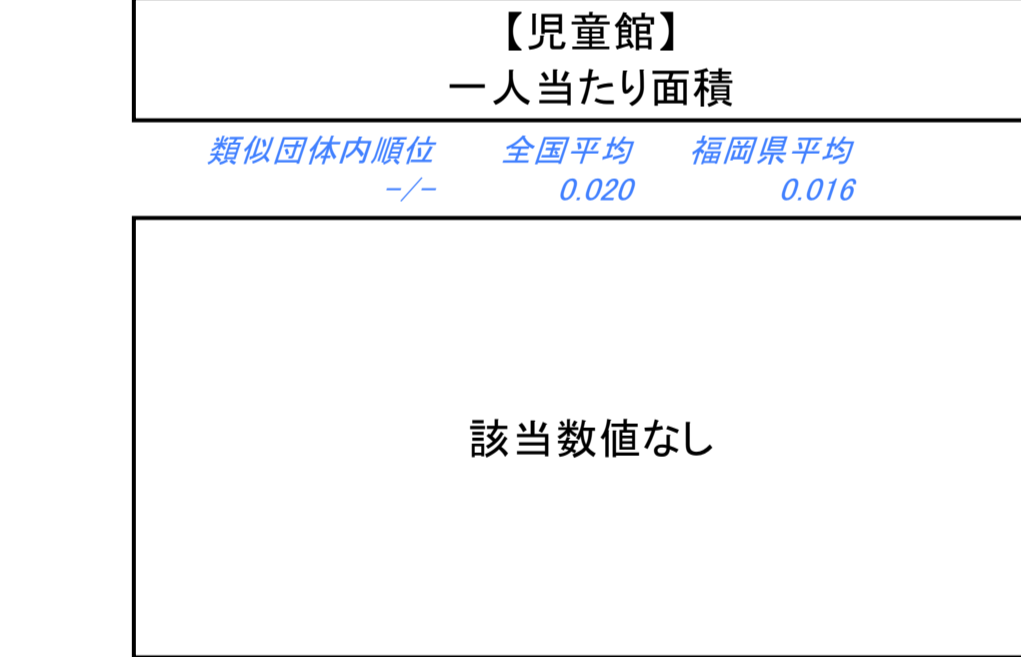
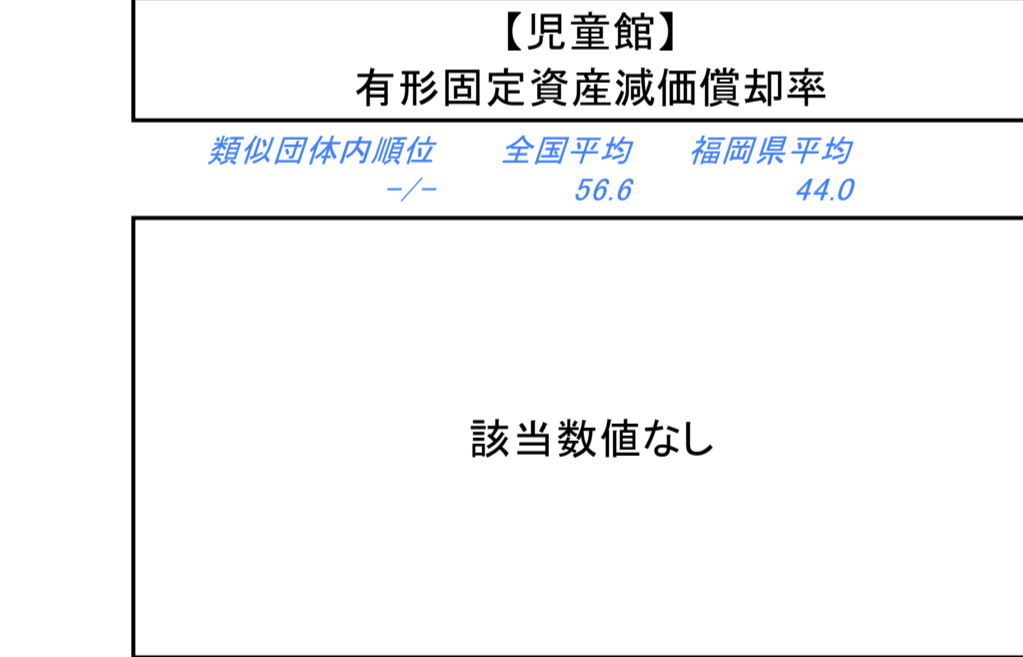
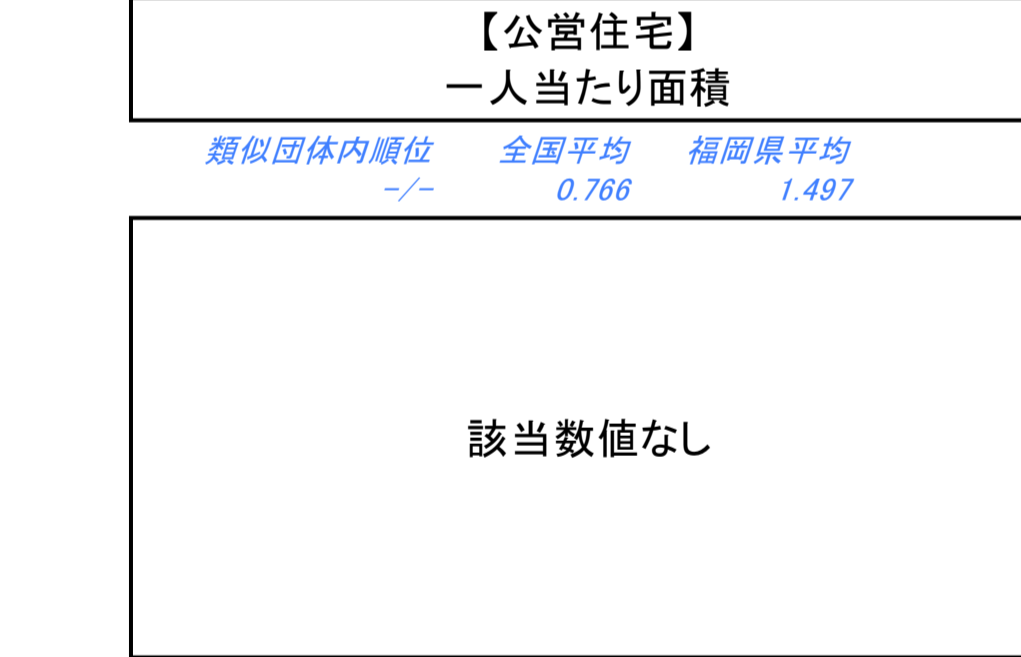
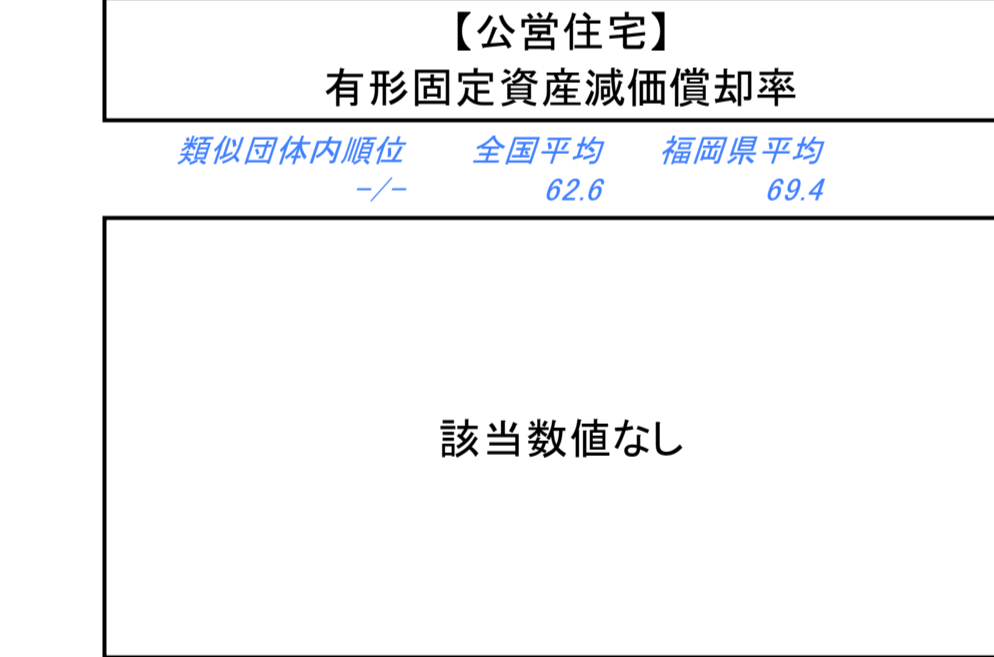
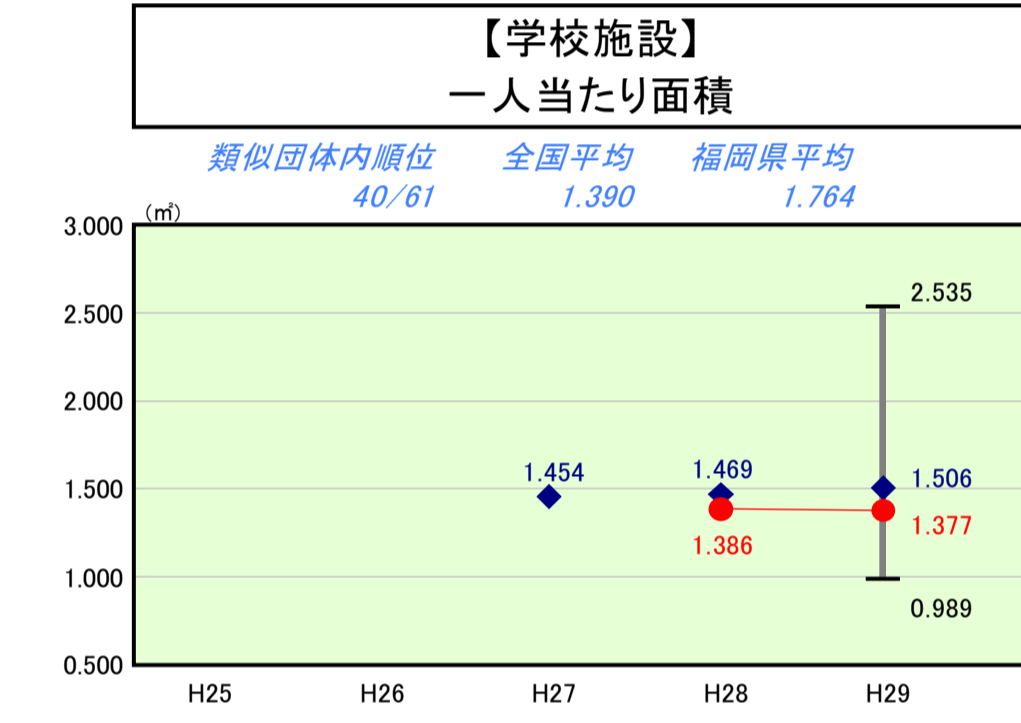
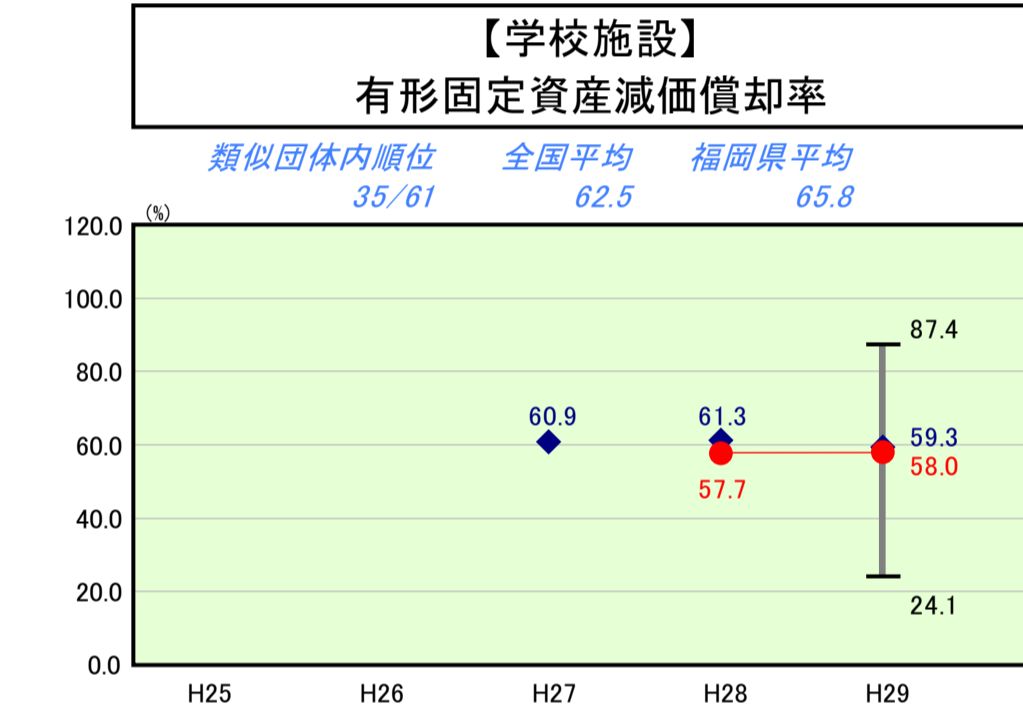
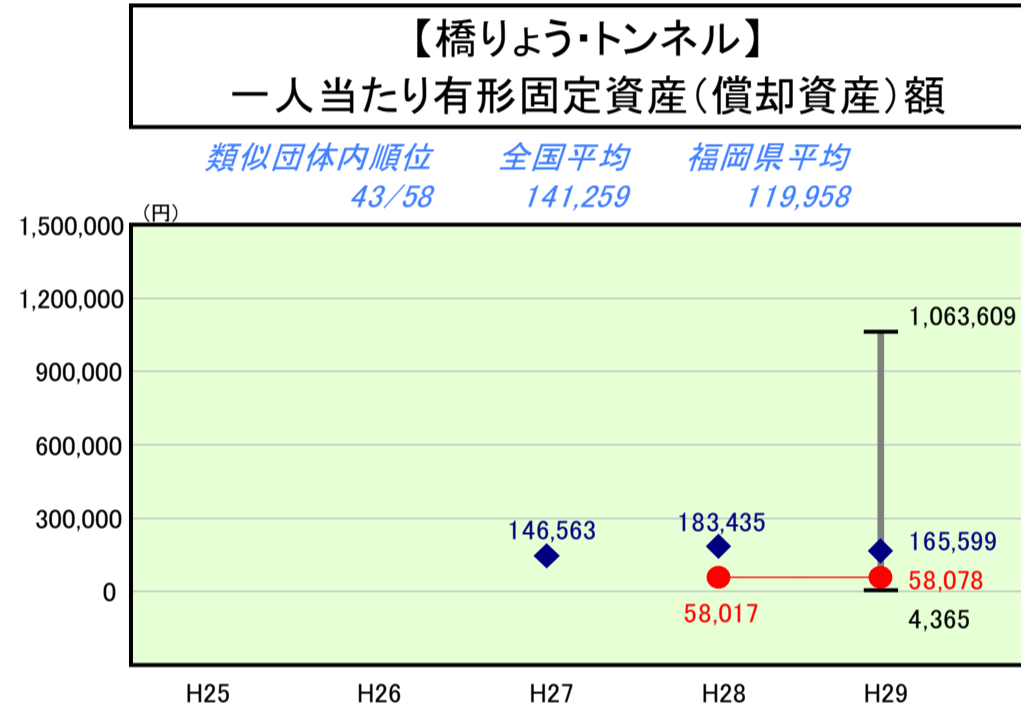
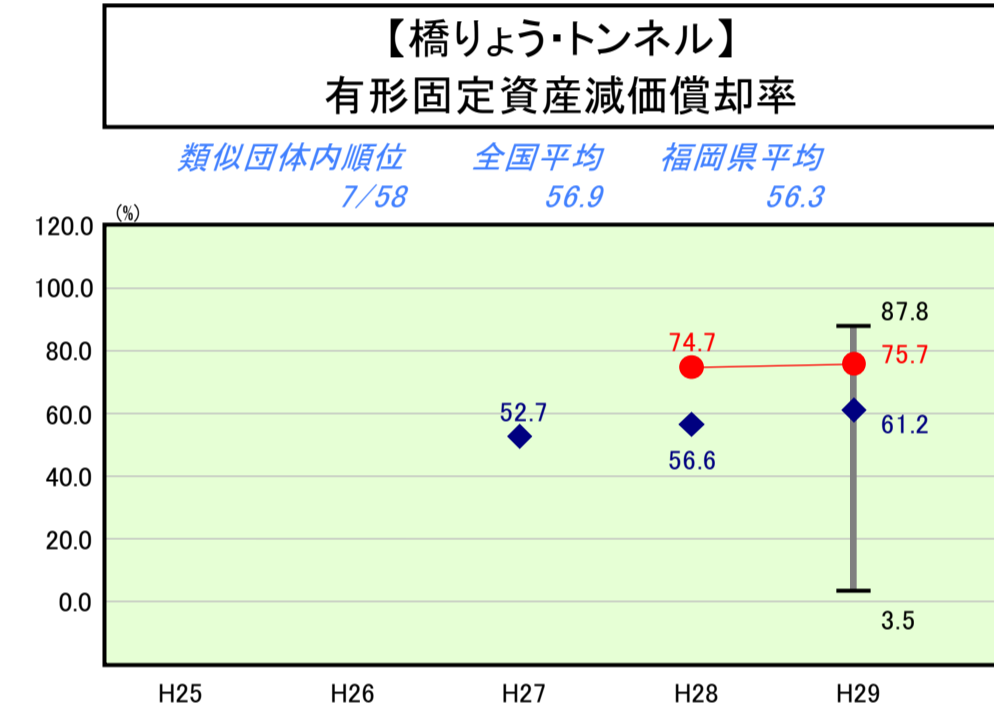
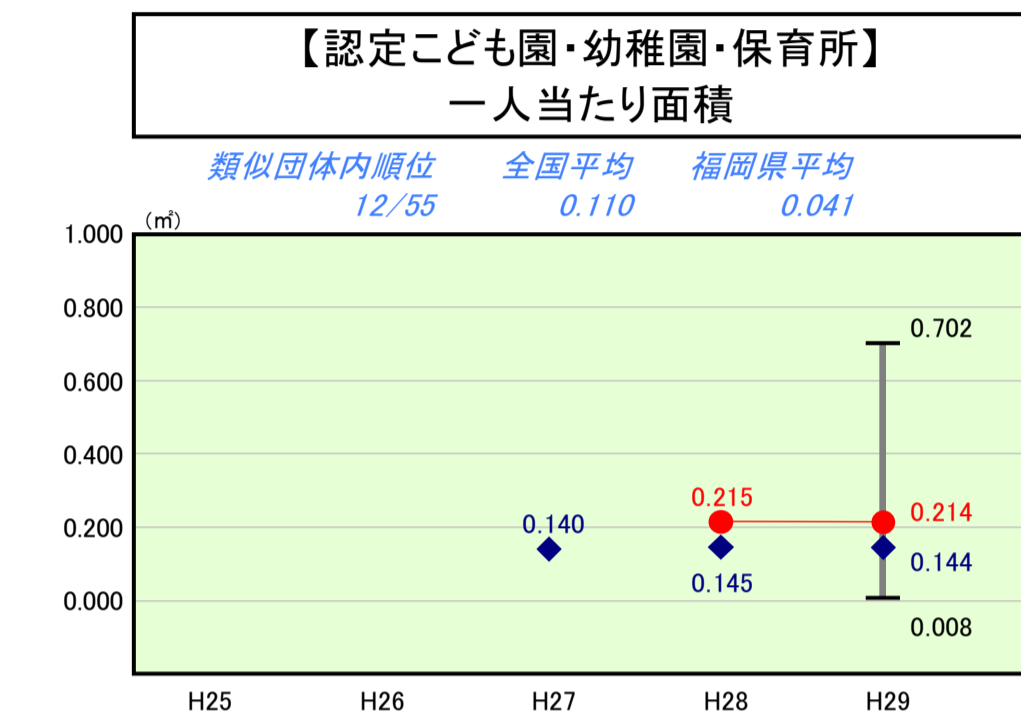
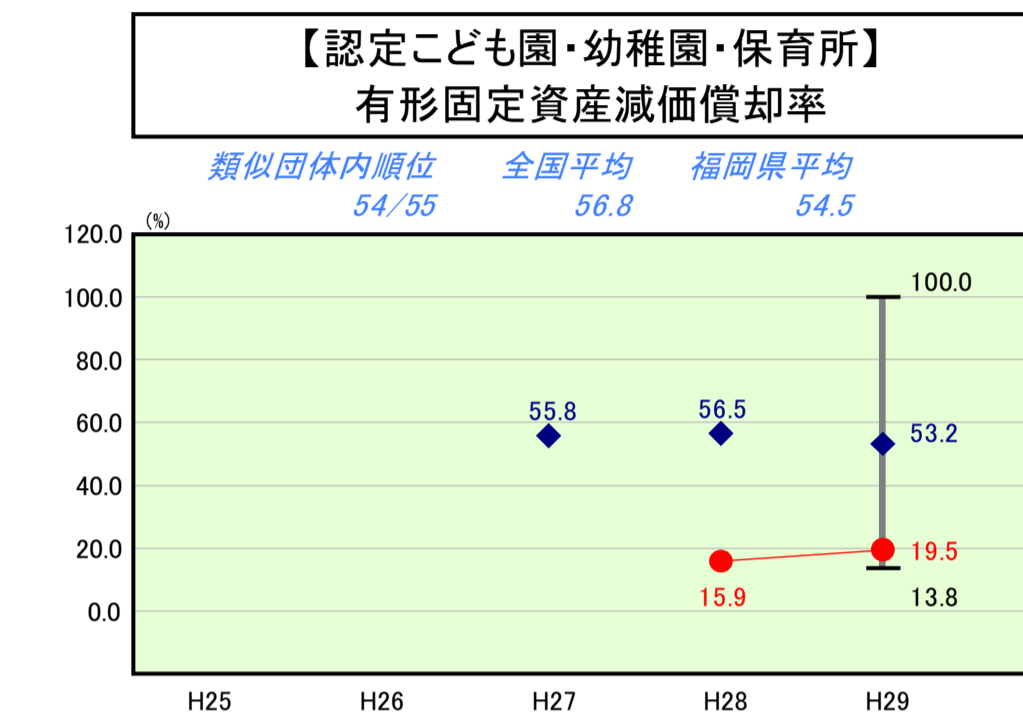
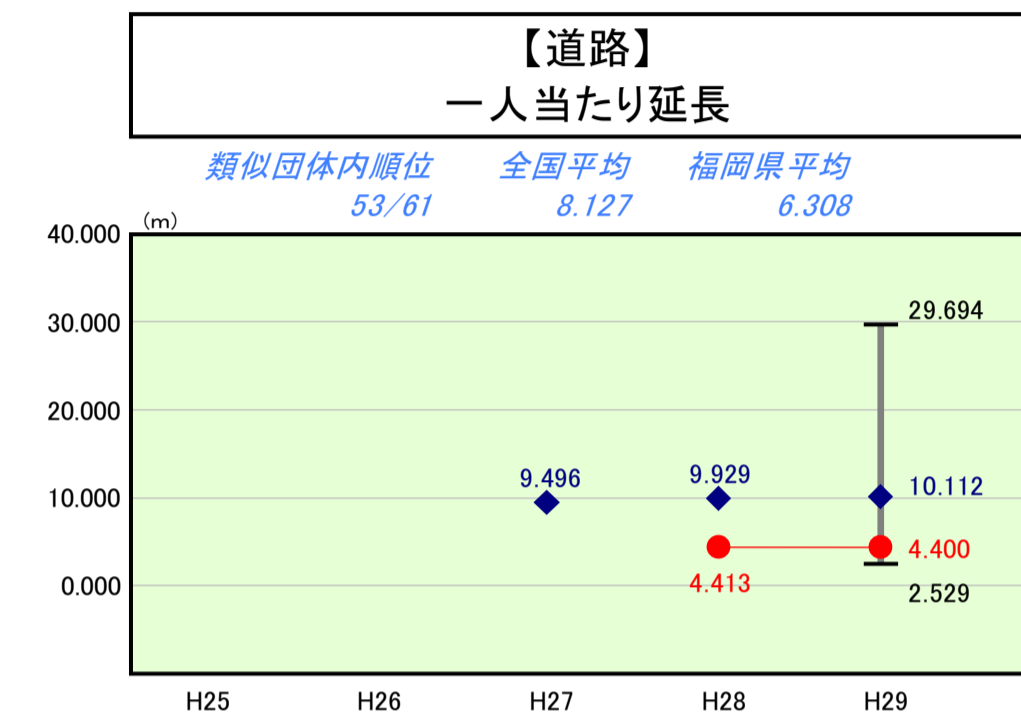
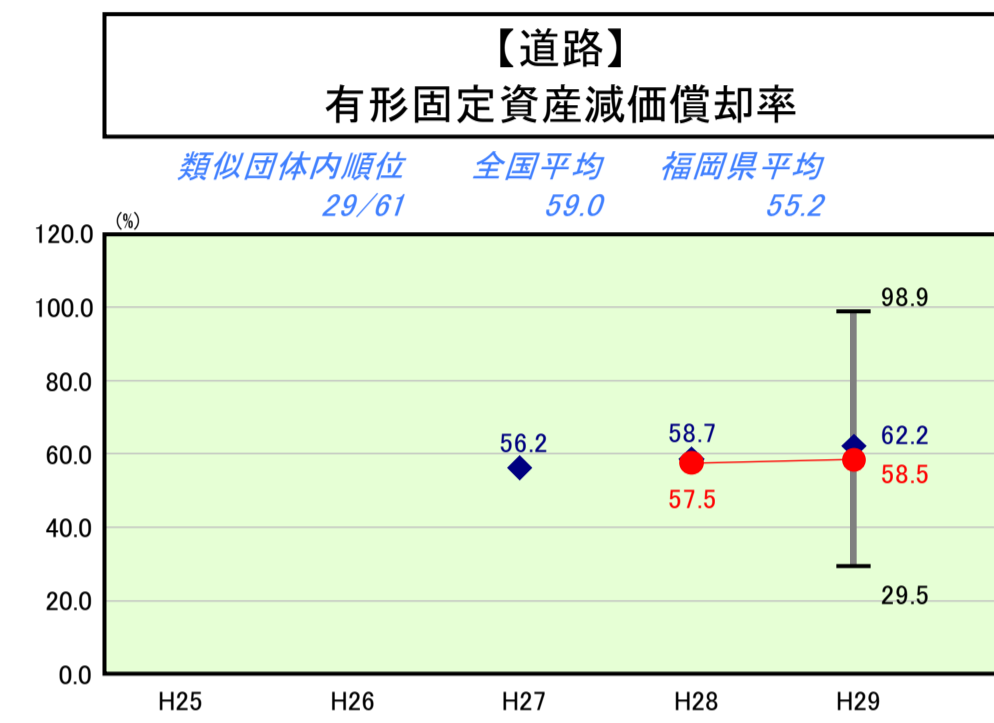
平成29年度

福岡県須恵町

人口	28,084人 (H30.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	27,858人 (H30.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	16.31km ²	実質公債費比率	7.6%
歳入総額	8,841,499千円	将来負担比率	49.4%
歳出総額	8,501,835千円	市町村類型	H25 V-2 H26 V-2 H27 V-2
実質収支	339,664千円	(年度毎)	H28 V-2 H29 V-2
標準財政規模	5,535,790千円		
地方債現在高	6,681,394千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



施設情報の分析欄

【道路】は、一人当たり延長が全国平均、県平均、類似団体平均と比較してもかなり低い数値となっているが、管理という観点から見れば維持費や更新費用は他団体よりも抑制できると考えらる。毎年段階的・計画的に改修・補修工事を実施している。

【橋りょう・トンネル】は、比較的年数の経った施設が多く、維持管理が困難になってきているが、策定した長寿命化計画に沿って計画的に改修を進めている。

【認定こども園・幼稚園・保育所】は、町内の5園中4園の施設を直近5年以内で更新しており、減価償却率はかなり低い水準となっている。更新したことによって受入可能人数は増加したが、それでも待機児童解消は完全には実現できてはいない。

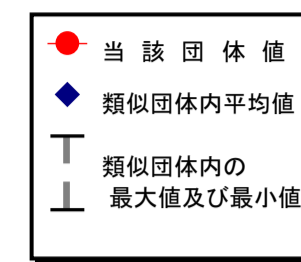
【学校施設】は、各校段階的に耐震補強工事・大規模改修工事を実施している。今後、個別施設計画を策定し、施設の長寿命化や管理コストの縮小を計っていく。

(13)-2市町村施設類型別ストック情報分析表②

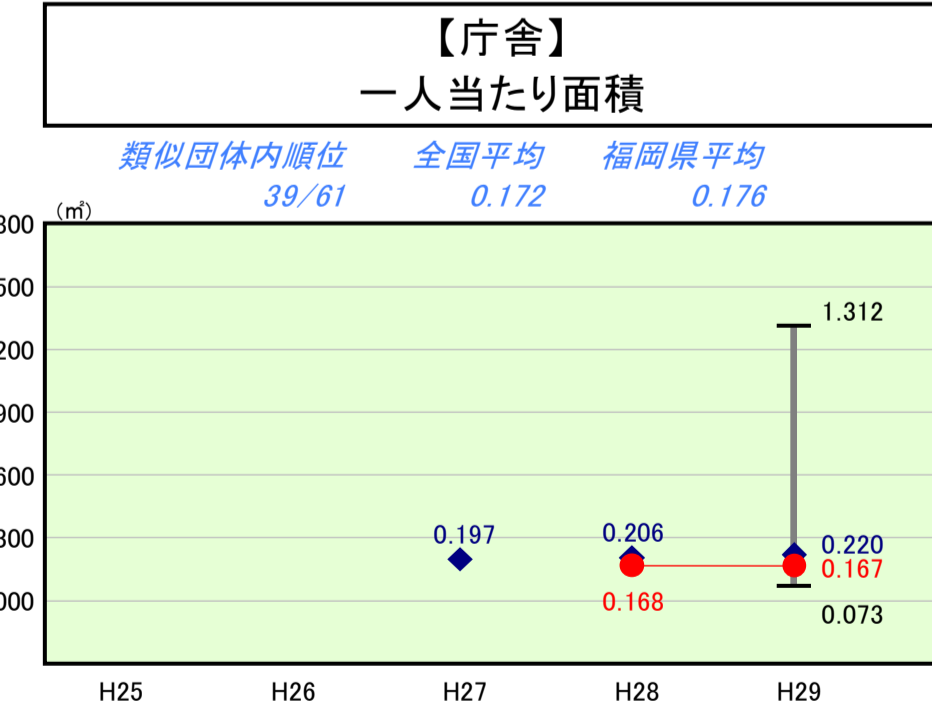
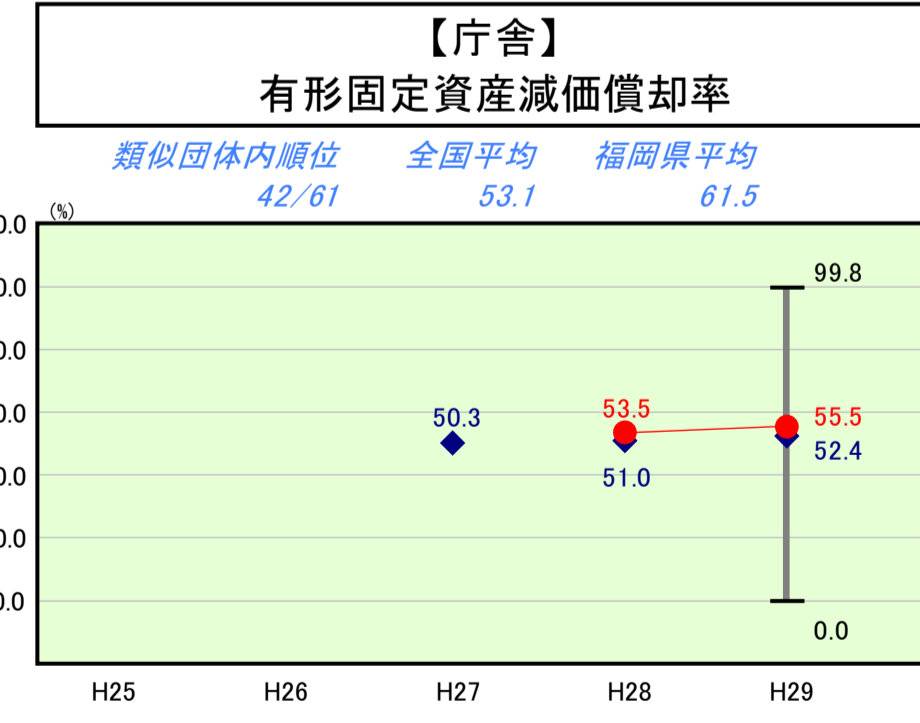
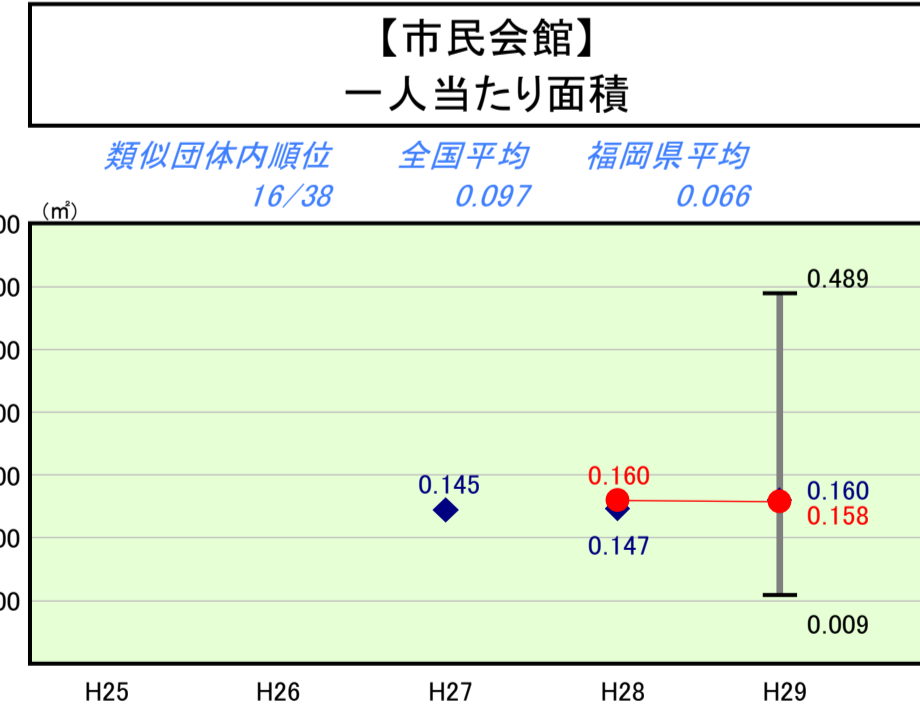
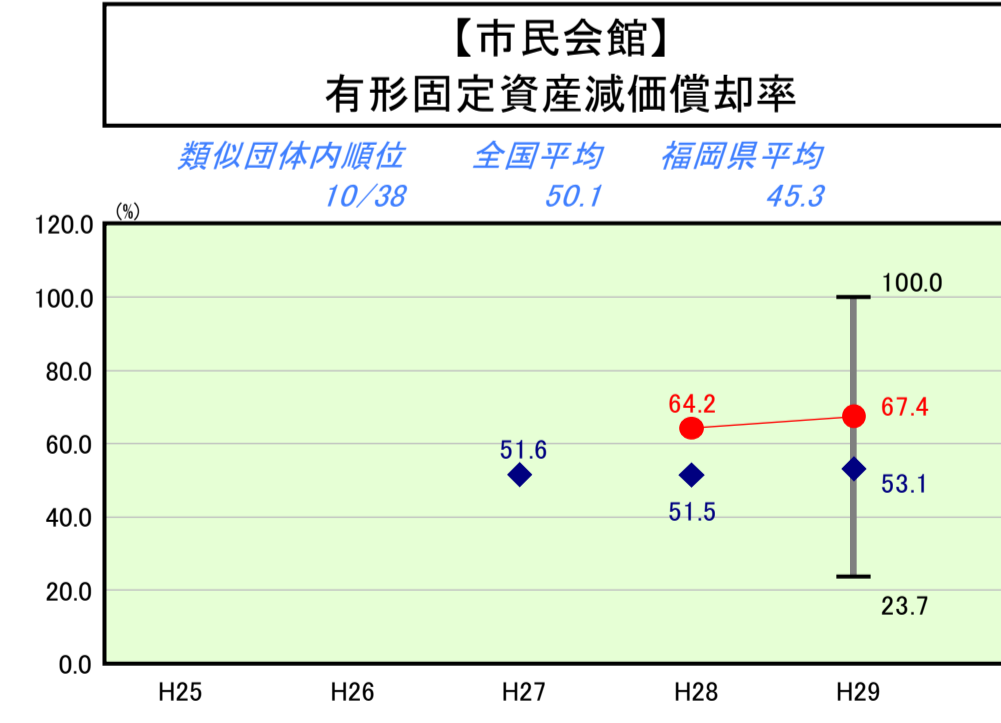
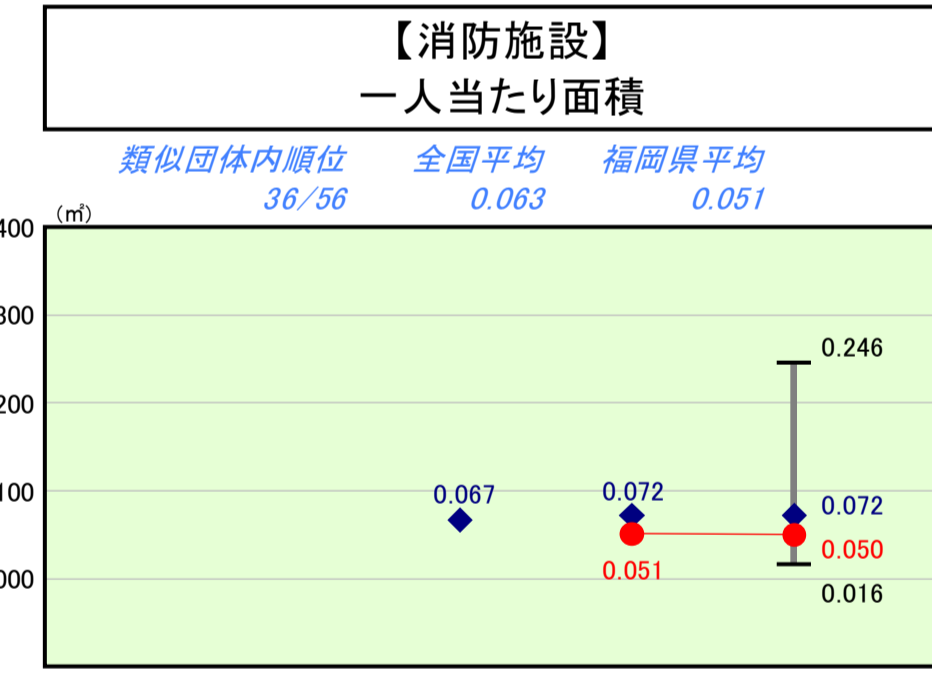
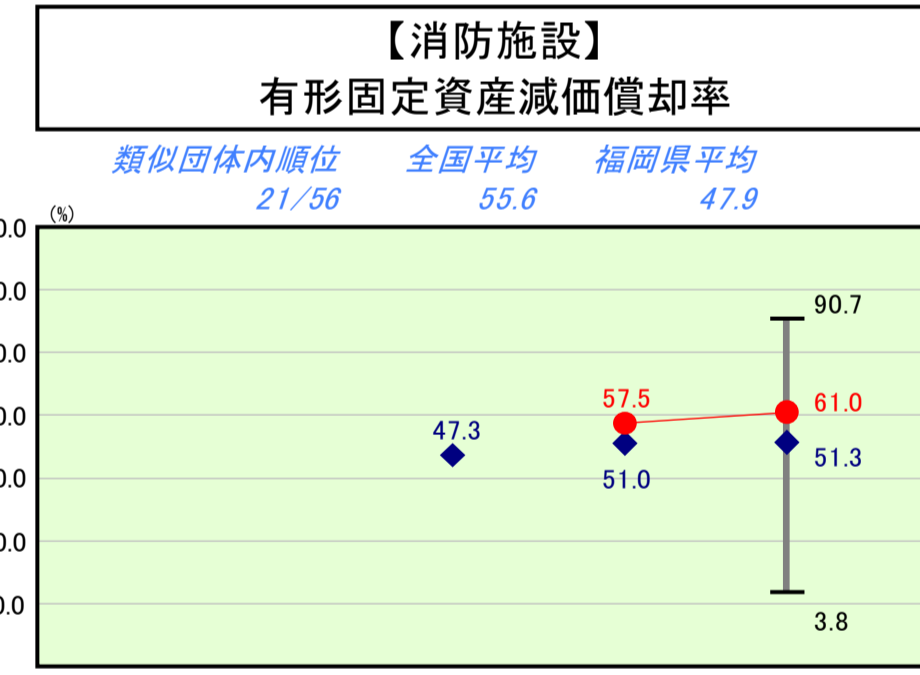
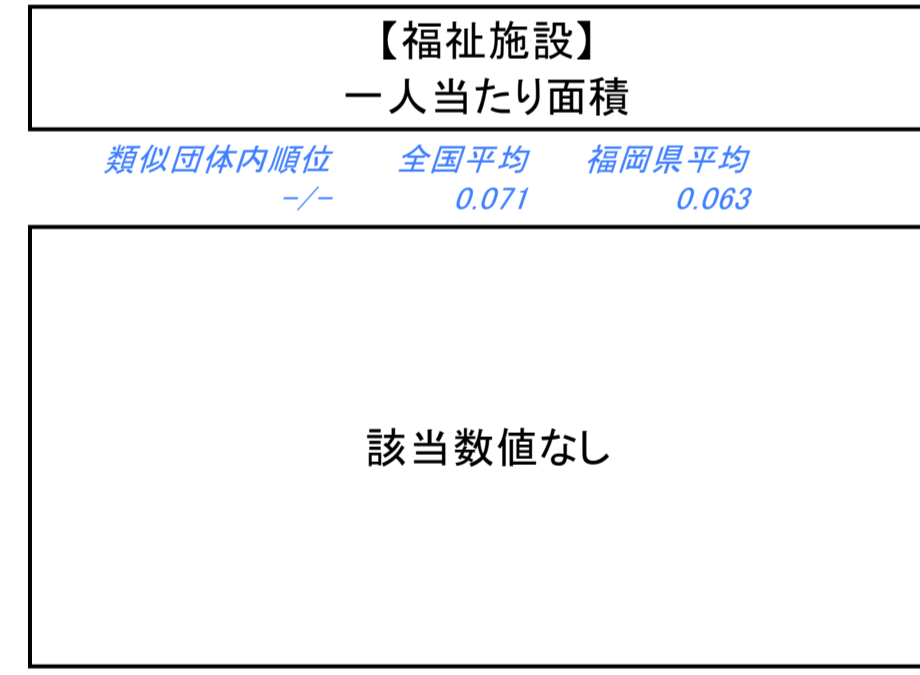
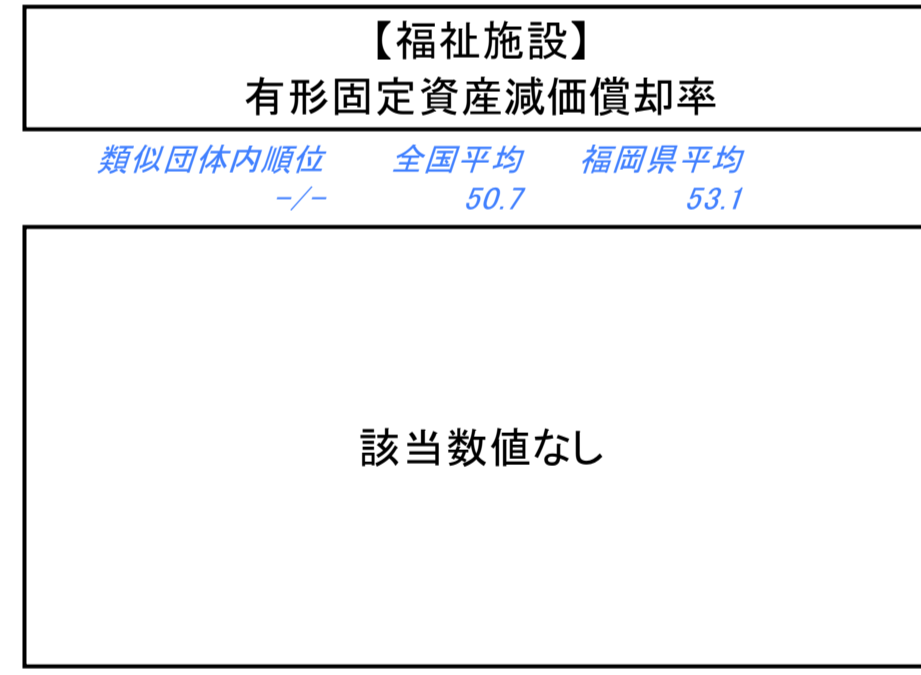
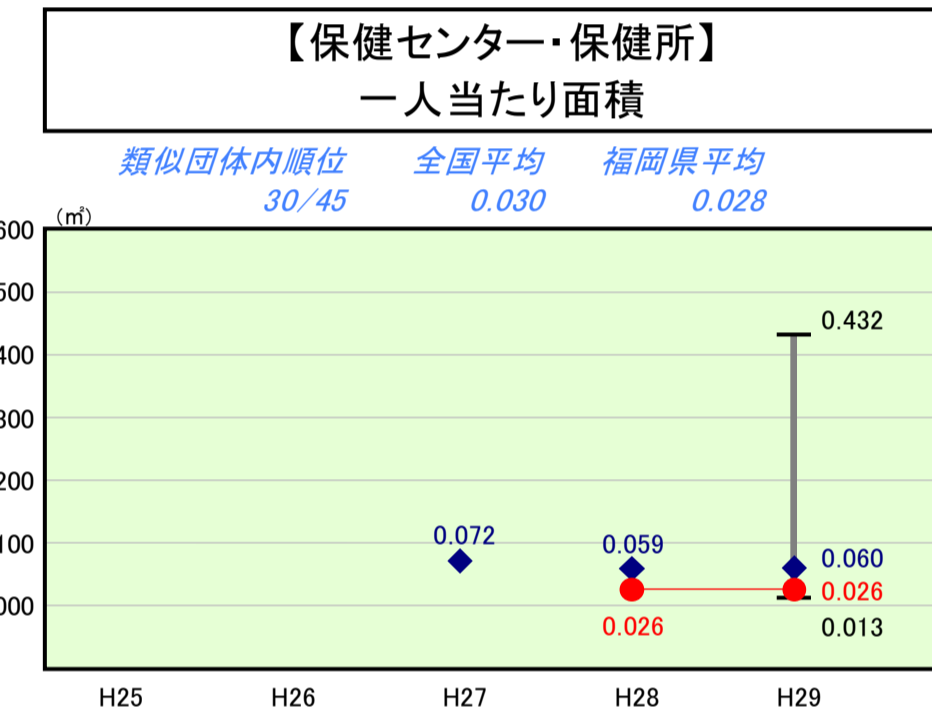
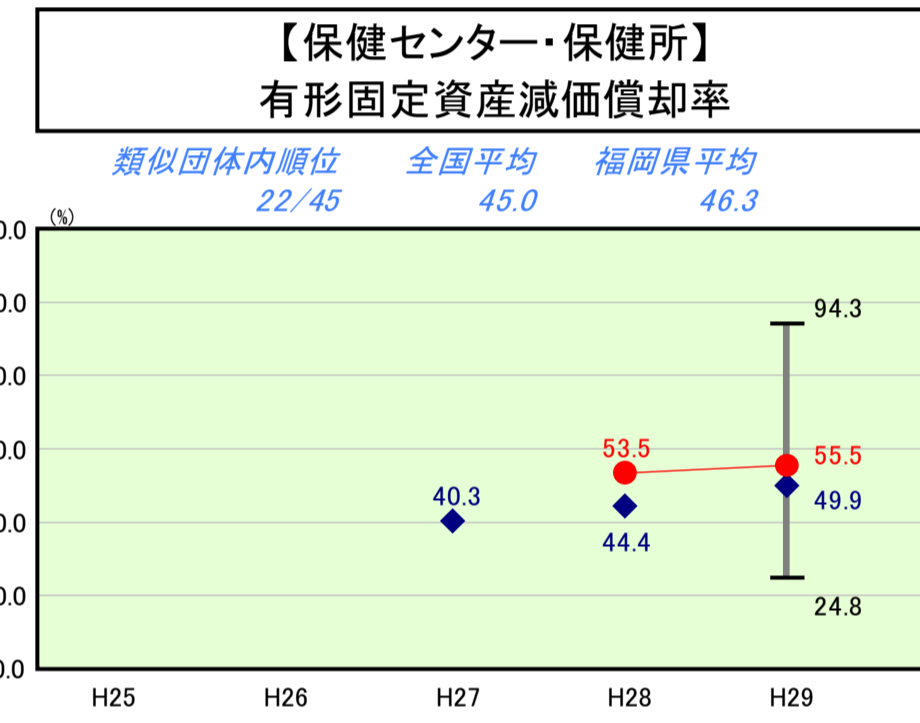
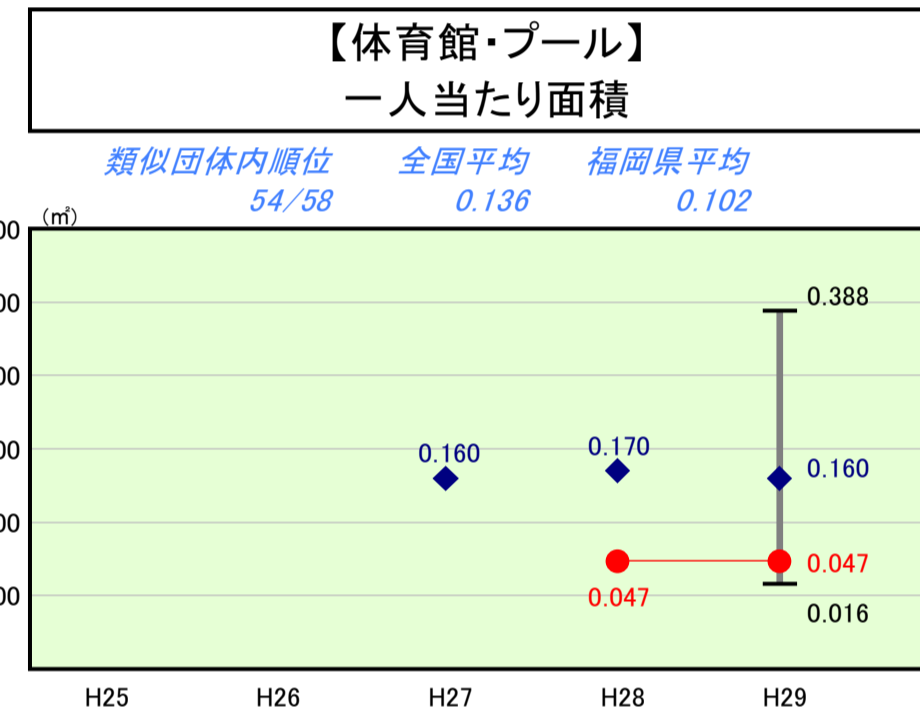
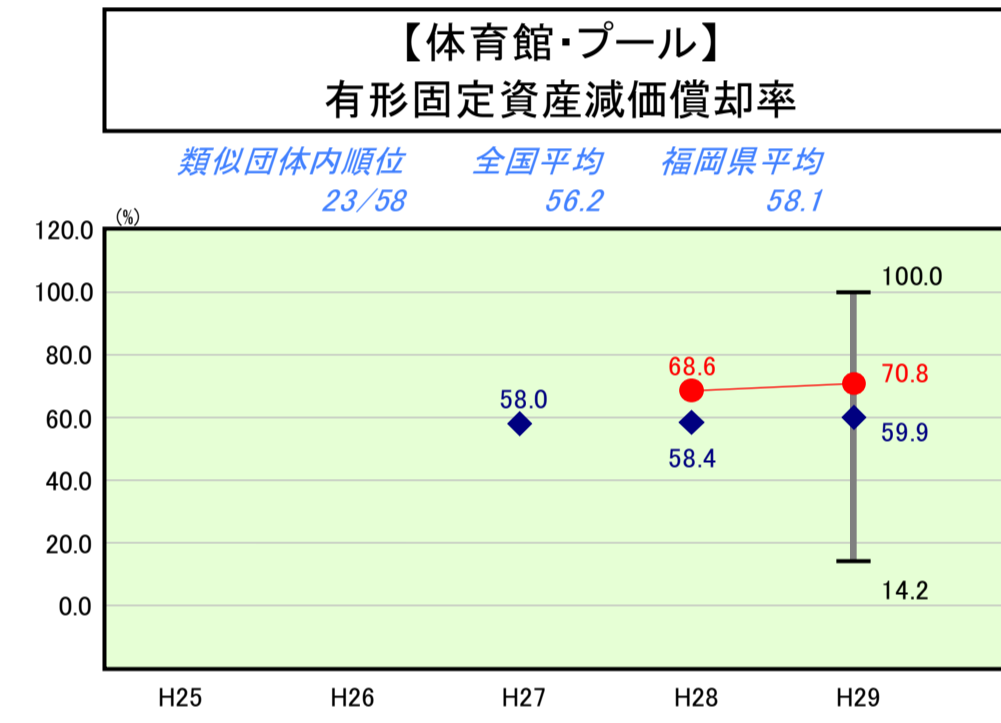
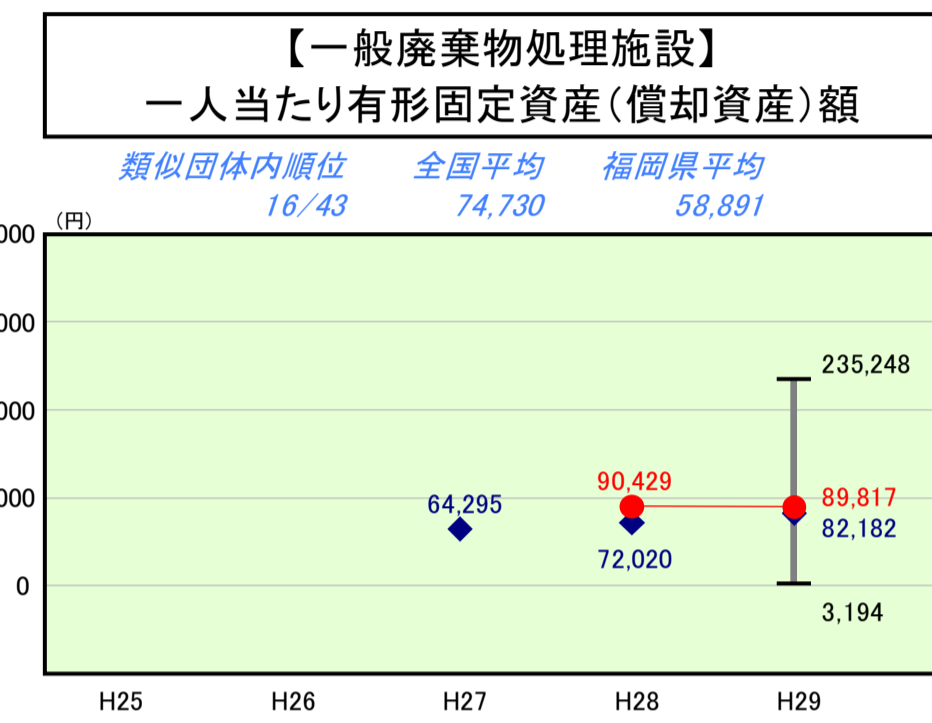
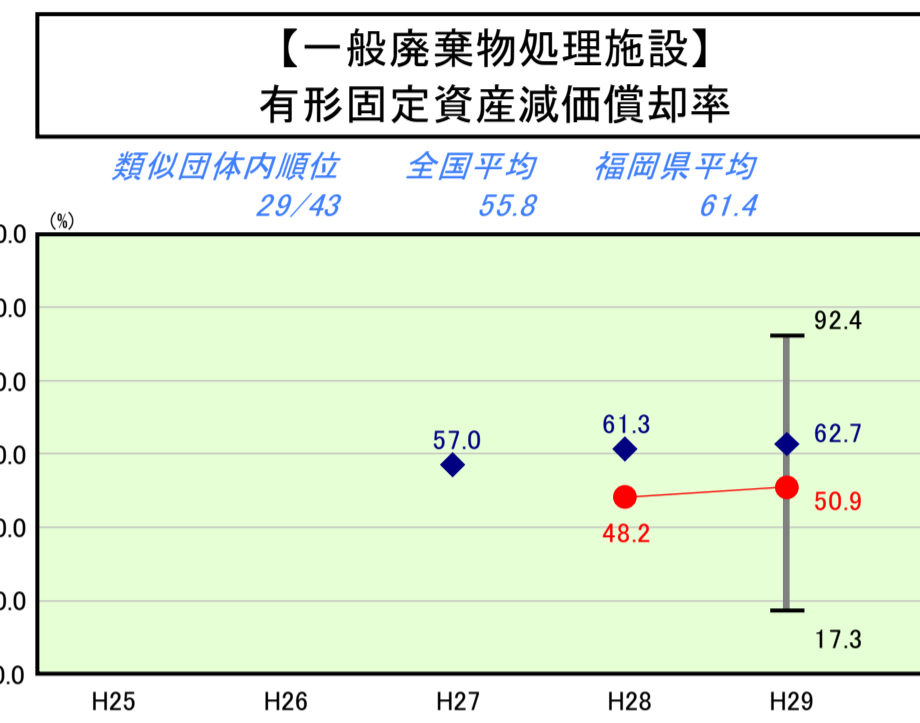
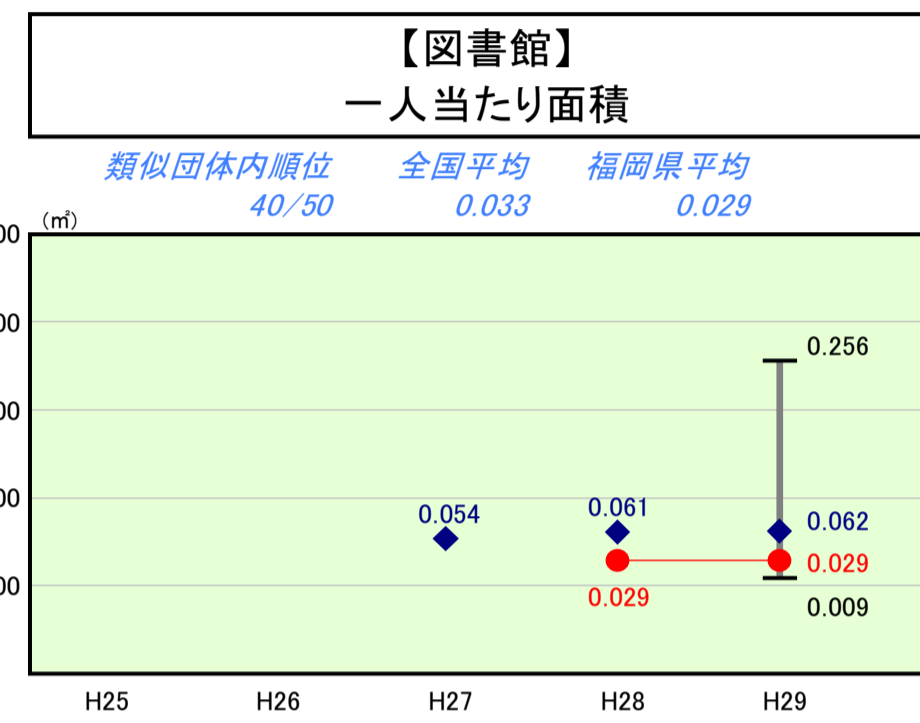
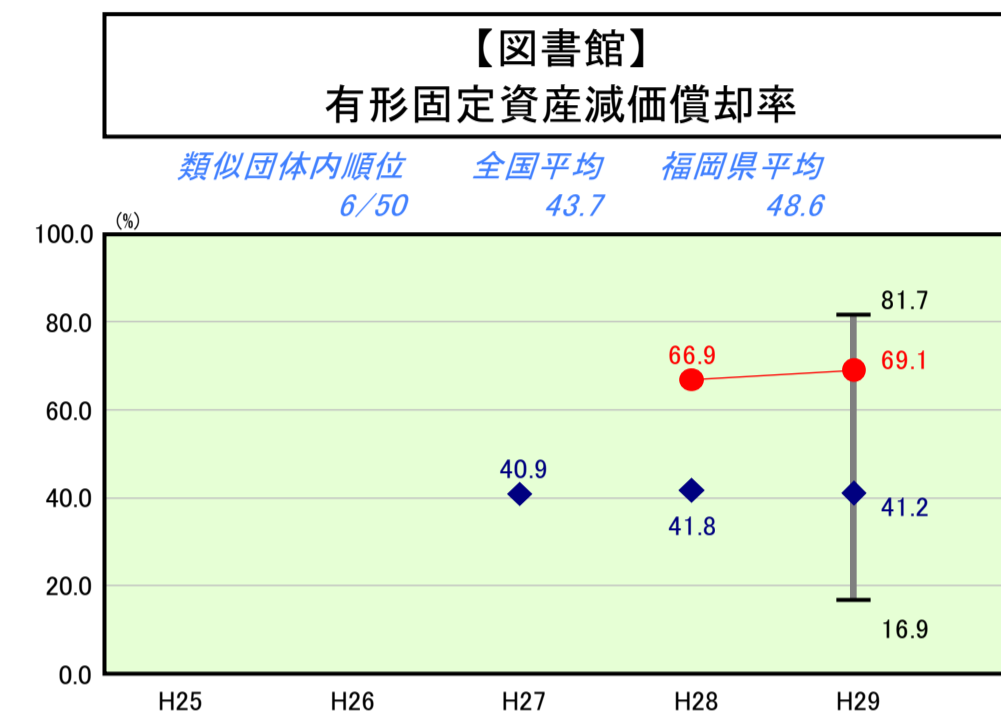
平成29年度

福岡県須恵町

人口	28,084人 (H30.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	27,858人 (H30.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	16.31km ²	実質公債費比率	7.6%
歳入総額	8,841,499千円	将来負担比率	49.4%
歳出総額	8,501,835千円	市町村類型	H25 V-2 H26 V-2 H27 V-2
実質収支	339,664千円	(年度毎)	H28 V-2 H29 V-2
標準財政規模	5,535,790千円		
地方債現在高	6,681,394千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



施設情報の分析欄

【図書館】は、建設から40年以上が経過しておりかなり老朽化が進んでいる。近年中に改修か更新等の決断をしなければならない状況と言える。今後、個別施設計画を策定し、移転・複合化等も選択肢とした新たなあり方を検討予定である。
 【体育館・プール】は、2施設ありうち1施設は建設されてから40年以上が経過しており、随所に補修が必要な状況となっている。近年中に改修か更新等の決断をしなければならない状況と言える。プールは、該当施設無し。
 【市民会館】は、建設からおおよそ25年が経過し大規模改修を実施すべき時期がきている。外壁のひび割れや軽度な崩落も発生してきているため長寿命化の施策をとる予定である。
 【一般廃棄物処理施設】は、近隣3団体で負担し合い維持管理をしており、今後施設の老朽化に伴い移転・新設をする予定である。
 【保健センター】は、当町では庁舎と併設している施設であり、建設から30年経過し大規模改修の時期となっている。
 【消防施設】は、防災無線施設が更新時期を迎えており、またデジタル化できていないため、近年中に大規模な更新工事を実施する予定である。